

学園通信

68

January 2020

特集 > 新役員紹介

卒業生インタビュー

九州旅客鉄道株式会社
取締役専務執行役員
田中 龍治さん

就活関連情報

クラブ・サークル紹介
ソフトテニス部、旅研究部



薬学部・実験風景(1964年頃)



工学部・実習風景(1971年頃)



医学部・細菌実習(1980年)



商学部・電子計算機会計論(1986年)



人文学部・比較文化演習(1990年)



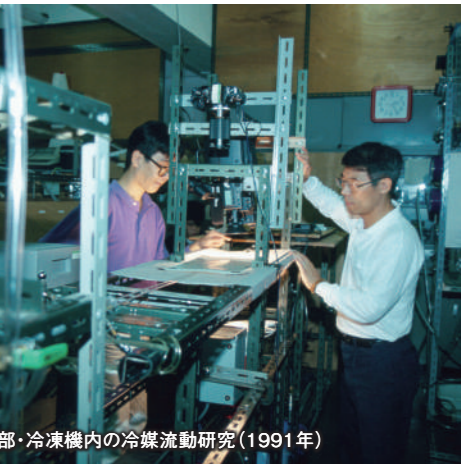
薬学部・有機薬化学実験(1988年)



経済学部・地域経済論(1990年)

研究

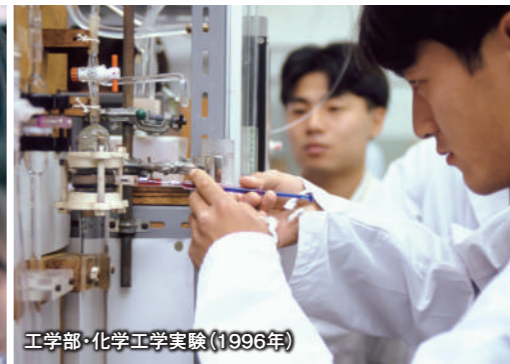
充実した環境と
ほとばしる情熱で芽吹く探究心。
この学舎で生まれた研究結果は
社会の至るところで
花開いている。



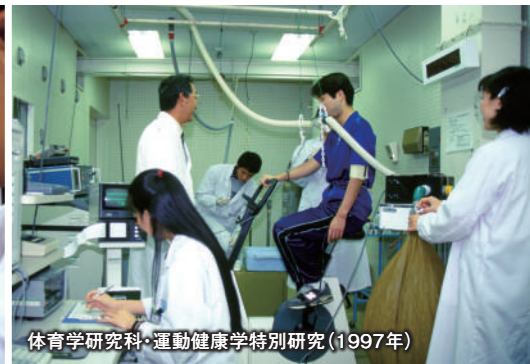
工学部・冷凍機内の冷媒流動研究(1991年)



医学部・解剖学(1995年)



工学部・化学工学実験(1996年)



体育学研究科・運動健康学特別研究(1997年)



体育学部・運動生理学(1997年)



理学部・生物学実験(1997年)



理学部・実験風景(2016年)



工学部・実験風景(2017年)



薬学部・実験風景(2018年)



理学部・実験風景(2018年)

新役職員紹介

2019年12月1日、新たな役職員体制がスタートしました。
さらに歩みを進めていく福岡大学の目指す道筋や取り組み、
抱負についてお話しいただきました。

>CONTENTS

02 特集

新役職員紹介

11 充実CAMPUS LIFE

商学部第二部商学科 4年次生
阿部 太一さん

13 時代を駆ける先輩たち

九州旅客鉄道株式会社 取締役専務執行役員
田中 龍治さん
(工学部土木工学科(現社会デザイン工学科) 1977年卒業)

17 就活メモリー

株式会社大和速記情報センター
速記部
植山 華子さん
(人文学部日本語日本文学科 2015年卒業)

マクセル株式会社
ライフソリューション事業本部
日下部 弘樹さん
(工学部化学システム工学科 2016年卒業)

19 情熱の証

ソフトテニス部、旅研究部

21 福眼力

電波暗室

23 Fukudiary

学生チャレンジプロジェクト

25 学びの現場から

ものづくりセンター

27 研究室を訪ねて

工学部化学システム工学科
八尾 滋教授

29 ヒポクラテスの系譜

福岡大学病院 消化器内科

31 Good Life サポート

32 ゲームズコレクション

33 寄付者ご芳名一覧

35 第15回全国高校生川柳コンクール 入選作品発表

37 ななくま通信

建学の精神

思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

教育研究の理念

「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存



新役員紹介—新学長紹介

新たな時代を見据え、今後どのような取り組みを行っていくのか、
朔学長が、就任にあたっての抱負を語ります。



共に、教職員、卒業生、そして地域社会が、「共育」を通じて運動拍動し、一体となって成長・発展するよう目指します。「Rise with Us」。この言葉に、その思いを込めました。Usは私たち、Universityです。一人一人が思い描く明るい未来、ワクワクする夢を自己実現する力を修得できる環境の整備、雰囲気醸成に力を注ぎます。

大学は、正義を実現する場所でもありません。ここで言う正義の実現とは、人への思いやりを礎に幸せな社会を形成することです。その基盤が大学の教育と研究です。開かれた議論を通じ、西日本随一の教育、研究、医療を提供していきます。本学には、ワンキャンパスに全学部が集まる、知が集積する物理的大きな利点があります。一朝一夕には成し得ないこのアドバンテージを存分に生かし、文理横断・異分野融合のコラボレーションを加速させたいと思います。

また本学には、26万6千人を超える卒業生がいることも大きな強みです。私も1978年に医学部を卒業した一人です。本学に学生、医師、教員として在籍し、50年近くを過ごしてきましたが、さまざまな面で進化し、本当に素晴らしい大学に成長していると実感しています。そう感じる大きな要因は、財界、官界、スポーツ界、医療界、教育界、芸能界、そして地域社会等、実に幅広い分野で多くの卒業生の活躍を目的とするからです。ここ

福岡大学長 朔 啓二郎

SAKU Keijiro

明^{かつ}る^{たつ}く闊達な大学の共創

に本学の魅力・活力の源泉を感じます。各方面で活躍されている卒業生の英知を頂き、力強い総合力として束ねることで、時代に即応した持続的発展と、グローバルな貢献ができる大学により一層成長させたいと考えています。

学生の皆さんには 生涯学べる力を 身に付けてほしい

大学は、未知への好奇心を躍動させ、臨場感を持つて大いに学ぶ場です。自ら学ぶテーマを見いだし、考えを深める力は、学生の皆さんの将来を支える基盤となります。人生100年時代、60歳で現役引退する時代はとうに過ぎました。これからは、誰もが長く社会と関わり続けなければなりません。自ら学び考える力があれば、卒業後も自分を高め、人生を切り拓いていくことができるはずで、また、海外に行き、多くの人を見て、国際的な視点も養ってもらいたいと思います。例えるならば、「七隈弁」だけ話せても世の中のこととは分かっておらず意味はわかりません。多様性の中に身を置き自分を高めていくことこそ大事です。そのための支援は積極的に行いたいと考えています。

昨年のラグビーW杯では日本中が盛り上がり、私も日本代表の奮闘に熱く感動しました。ラグビーの「One for All, All for One」の精神は、医療現場に身を置く一人として相通ずるところを感じます。一人の患者のために、医師、看護師等のスタッフがワンチームとなって最大限に力を合わせるからです。しかしこれは、医療現場に限らず、社会では誰もが

教育を「共育」と捉え 共に成長する 「Rise with Us」

第9代福岡大学長に就任しました。私は本学の卒業生であり、母校をさらに魅力ある大学にすべく、その先頭に立って奮励する所存です。よろしくお願いたします。

大学の使命の第一は教育です。私は、教育という言葉にあえて「共育」の字を充てたいと思います。元来、教育は各々の分野の相当な熟練者、経験者である人にしかできないことだと理解しています。難解なことについて分かりやすく伝えようとするので、教育者には弛まない研究や努力が必要です。私は、教える側の私たちが不断の研鑽を重ね学生と接することで、学生と教職員が共に成長していく姿を思い描いています。さらにこれは、学問以外の課外活動、学生生活、人としての振る舞い等についても同様と思います。私は、今こそ本学に必要なものはこの「共育」という意識であると捉えています。在学生の皆さんと

どこかで経験することではないでしょうか。ラグビー日本代表がベスト8に輝いたように、本学が一丸となれば、社会そして未来の多方面にさらに影響を与える存在になれると確信しています。皆さまと共に明るく闊達な大学をつくっていきたいと思います。

プロフィール

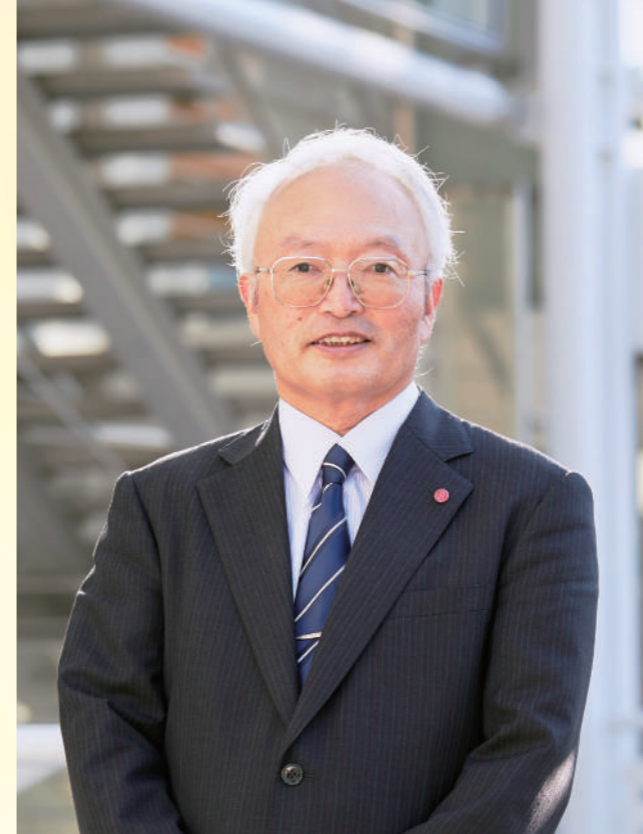
- 福岡市出身
- 1952年3月6日生まれ
- 1978年福岡大学医学部医学科卒業
- 専門 心臓血管内科学
- 職歴
- 1981年 米田オハイオ州シンシナティ大学 内科フェロー(4年間)
- 1988年 福岡大病院内科第二講師
- 2000年 医学部内科第二 (2007年4月講座名変更により心臓・血管内科学 主任教授、福岡大病院循環器内科部長 兼務)
- 2005年 12月から2007年11月まで 福岡大病院副病院長(1期)
- 2013年 12月から2019年11月まで 医学部長(3期)
- 2014年 基盤研究機関「心臓・血管研究所」所長。
- 学校法人福岡大学理事、同評議員を歴任。
- 日本内科学会功労会員、日本動脈硬化学会功労会員、日本循環器学会特別会員、日本心臓病学会特別正会員など。日本循環器学会理事、日本心臓病学会理事も歴任。医学博士。67歳。

大切にしている言葉 「サイエンスは思いやり」

医療においてのサイエンス(科学)とは「思いやり」思いやりがない限り、科学は発展しないと思います。人を第一に考え、科学を科学で終わらせない。そういった思いを学生に伝えています。

新役員紹介 — 新副学長・新事務局長紹介

教育・研究・医療および地域連携を柱に発展を続ける福岡大学。
新副学長・新事務局長が抱負を語ります。



副学長(教学担当)

加留部 善晴 (薬学部)

KARUBE Yoshiharu

専門 創剤学

「学生のための大学」として 多岐にわたる支援を行う

大学生活という限られた時間の中で学びを定着させ、課題を発見し、解決する力を身に付けられるか。これは現在の大学教育における大きな課題で、本学にとっても重要視すべきことと捉えています。

2020年の教育改革に伴い、大学は「何を教えてきたか」ではなく、学生が「何を身に付けたか」が問われるようになった今、まずは学位プログラムを再確認し、学生が学びの中に感動を見つけられるような、質の高い学びを提供したいと考えています。学問を何のためにするか。その一つは、人生を有意義に生きるためにするものと思います。学問をしなくても生きてはいけますが、人生が味気ないものになります。学生の皆さんには、キャンパスで「知る」と「分からない」との波にもまれ、そこから知的興奮を味わってほしいと思います。そのきっかけを数多く提供していきます。大学生活とは、社会とつながるまでの途中段階に在るものだと私は考えます。社会の入口に至るまで、十分な教育体制や設備、環境を整えて学生の学びを支援していきます。



副学長(財政担当)

小野寺 一浩 (法学部)

ONODERA Kazuhiro

専門 刑法

現場の意見を反映させ、 一人一人が活躍できる大学に

学びの選択肢が増えた現代において、受験生等に“選ばれる大学”になるためには、教育全体の質を向上させることが大切です。私は、学生が学部や学科の垣根を越えた学びを通して、福岡大学でしか得ることのできない付加価値を身に付けて卒業できる大学にしたいと考えています。そのためには、学生が十分に学びを深めることのできる制度・設備・環境の整備が必要不可欠です。限られた経営資源を時代に即した質の高い教育、そして挑戦的な研究、高度かつ先進的な医療等に効果的に投じていきます。同時に、それらを支えるためには強固な財政基盤が必要です。長期的な視点を持ってメリハリのある財政運営に取り組んでいきます。

本学は、在学生、卒業生の活躍によって社会的な信頼を得てきました。今後もその信頼を得続けるために、学生や教職員の一人一人が生き生きと活躍できる大学を目指します。誰もが失敗を恐れず、挑戦する姿勢を尊重し、学生や教職員からの意見・提案を広く吸い上げて施策に反映させていきたいと思っています。



副学長(研究・情報・地域連携・就職担当)

荒牧 重登 (工学部)

ARAMAKI Shigeto

専門 情報アーキテクチャ

教育・研究の一層の整備と 充実を図る

社会に役立つ優秀な人材を育てるためには、「教育」「研究」という2つの機能が十分に働き連携することが重要です。学生に向き合い基礎教育に力を注ぐと同時に、先進的で高度な研究活動を実施できる環境整備に努めていきたいと思っています。また、総合大学の利点を生かした研究推進体制の整備・拡充を図り、産学官連携を強めて地域の環境づくり、健康づくりに寄与していきます。

大学時代の学びは、結果以上にそこに至るまでのプロセスが重要です。学生が自発的に行動し、満足いく大学生活を送ることができているか、その環境と機会を十分に与えられているか。教職員自らが、今一度、原点に立ち返る必要があると考えます。さらに、学生が将来の目標を見つけ、自ら考え行動する力を身に付けられるよう、教員や就職・進路支援センターとの連携強化も目指します。

本学には素晴らしい研究成果を創出している教員が多く、その成果や知見、思いをキャンパス施設の建設や情報システムの構築等に生かしていきたいと考えています。そうすることが学生が学ぶ場として、また研究機関として活気ある空間になると思っています。



新役員紹介 | 新学部長紹介

約2万人の学生が集う福岡大学。

文系・理系の全9学部が一つに集約されたキャンパスで、専門性を高めます。



人文学部長 山縣 浩 YAMAGATA Hiroshi 専門 日本語学(近代)

新たな50周年を見据えて

2019年に創立50周年を迎えた人文学部では、約130人の教員による少人数形式の細かな指導を行い、8つの学科ごとに高い専門性を身に付けることができます。学部長として2期目となる2年間では次の50年を見据え、人文学を多様な視点から学べる学部共通科目の創設など、さらなるカリキュラムの充実を図りたいと考えています。人文学とはさまざまな思考、思想の過程を学ぶ学問です。学部内の学生・教員の交流を拡充させ、視野や人脈を広げられる環境をつくりたいと思います。

法学部長 山下 恭弘 YAMASHITA Yasuhiro 専門 国際法

ゼミの活性化を図り、意見をまとめ伝える力を育む

法学部では、専門知識と教養が身に付く少人数制のゼミの活性化に取り組んでいます。勉強法や大学生活について理解を深める「法学部入門ゼミ」のほか、公務員等の職場見学で1年次から学修意識を高めていく「基礎ゼミ」や、語学力の向上を目指した「パワーアップゼミ」など、個々の能力を高める機会を設けることや、論述式の試験によって自身の意見をまとめ伝える力を育てていきたいと思っています。ゼミの活性化と、学生・教員とのコミュニケーションを通して学部内の問題点を見つけ、改善していくことが私の務めです。



経済学部長 姜 文源 KANG Moonwon 専門 農業経済学

学生の積極性や挑戦する力を高められる環境づくりを推進

経済学部は、在籍している教員の専門が多岐にわたっており、幅広い分野から興味のある授業を選び、特化して学ぶことができます。専門的な知識の修得と同時に、行動力と、失敗を恐れず挑戦する精神を育てていくことも重要と考えています。少人数での演習で一人一人が発言できる機会を多く設け、学生が能動的に勉学に取り組み、本学部で得た知識や経験からさらに興味を広げ「やりたいこと」を見つけられる環境づくりを推進していきます。



商学部長 中川 誠士 NAKAGAWA Seishi 専門 ヒューマンリソースマネジメント

時代のニーズを取り入れ、卒業後の人生を見据えた細かな指導を

商学は、社会に現実存在する産業、職業、仕事に関する諸課題に直接的に取り組んできた学問です。そのため商学部では「会計専門職プログラム」「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」「商業・情報科教員育成プログラム」など、時代のニーズに応えた学びを積極的に導入しています。まずは、商学の基礎を身に付け、さらに学ぶ喜びを感じられる専門科目やゼミやプログラムに取り組んでください。学生の皆さんが社会に出た後、本学での学びを最大限に生かせるよう、きめ細かで実践的な指導を行っていきます。



事務局長

米嶋 邦章

YONESHIMA Kuniaki

ステークホルダーの期待に応え 夢がかなう大学づくりに努める

事務職員が働く部署は約70あり、部署によってステークホルダーはさまざまです。業務内容も多岐にわたるため、幅広い知識と高度な業務遂行能力が求められます。業務が円滑に進むように、まずは事務体制をより万全に整えていきたいと思っています。

福岡大学では、約2万人の学生が学問やクラブ活動などを通じて人間形成を図り、自身の目標を達成するために切磋琢磨しています。学生の皆さんの目標や夢の実現を後押しするために、私たちに何ができるのか、ステークホルダーの期待にどう応えていくのか。今一度、その原点を意識して取り組んでいきたいと考えています。

福岡大学の学生は「対人力が高い」と言われており、私はその社会的な評価を大変うれしく、また頼もしく感じています。今後もその力を育んでいくために、学生の皆さんと向き合う私たち自身が「対人力」や「人間力」をさらに身に付ける必要があると考えています。そのための意識付けを行い研鑽する機会を充実させていきます。学生の良き相談相手として、また教員等の頼れるパートナーとして、使命感を持って夢がかなう大学づくりに努めていきます。



副学長(医学・医療・スポーツ・健康・学生分野担当)

田中 守(スポーツ科学部)

TANAKA Mamoru

専門 体力学・スポーツ生理学・ハンドボール

医療・健康・スポーツで 活力ある福大を

「躍動感」などが高く評価された「大学ブランド・イメージ調査2019-2020(九州・沖縄・山口編)」(株式会社日経BPコンサルティング実施)で2位になるなど、エネルギーさや、キャンパス内の活気、学生のコミュニケーション能力の高さは福岡大学の魅力です。また、医療・健康・スポーツに関する積極的な地域貢献も高い評価を得ています。このような評価や、学修や研究成果などの内外への発信をさらに強化していきたいと考えています。それによって帰属意識の醸成を図り、学修・研究・スポーツ分野における成績のさらなる向上を目指していきます。とりわけ、学生スポーツの強化・普及・充実を目指した仕組みづくりを中心に、学生・教職員・有信会をあげての福大スポーツ応援体制づくりを目指します。

医学・医療分野では、各病院長と協力しながら、医学・医療分野外からの視点も取り入れた議論を進めていきます。まずは、学内にある医療施設や各種研究所、センターとの連携強化を図りながら、学生や教職員の健康管理、健康づくり支援、傷害等発生時の緊急対応の充実等に取り組んでいきたいと思っています。

新役員紹介



図書館長
永星 浩一
EBOSHI Koichi

専門
情報社会論
(商学部)



学生部長
梶井 昌邦
KAKOI Masakuni

専門
地域科学
(経済学部)



教務部長
檜垣 靖樹
HIGAKI Yasuki

専門
運動生理学
(スポーツ科学部)



福岡大学病院長
岩崎 昭憲
IWASAKI Akinori

専門
外科学



第二部主事
長束 航
NAGATSUKA Wataru

専門
会計学



研究推進部長
野田 慶太
NODA Keita

専門
臨床研究
(医学部)



法学研究科長
武居 一正
TAKESUE Kazumasa

専門
憲法



人文科学研究科長
久保 善宏
KUBO Yoshihiro

専門
英語学



福岡大学筑紫病院長
柴田 陽三
SHIBATA Yozo

専門
整形外科学



理学研究科長
田中 勝
TANAKA Masaru

専門
情報数理



商学研究科長
山内 進
YAMAUCHI Susumu

専門
税務会計論



経済学研究科長
李明哲
LI Mingzhe

専門
都市交通解析



薬学研究科長
岩崎 克典
IWASAKI Katsunori

専門
臨床疾患薬理学



医学研究科長
松永 彰
MATSUNAGA Akira

専門
臨床検査医学



工学研究科長
佐藤 寿倫
SATO Toshinori

専門
計算機工学



大学院学務委員長
鹿志毛 信広
KASHIGE Nobuhiko

専門
微生物薬品化学
(薬学部)



法科大学院長
村上 英明
MURAKAMI Hideaki

専門
憲法



スポーツ健康
科学研究科長
川中 健太郎
KAWANAKA Kentaro

専門
スポーツ栄養学・
生化学

理学部長 永田 潔文 NAGATA Kiyofumi 専門 超高压物性

論理的な思考と社会性、人間性を持った人材の育成を推進

自然科学の探求は、技術の進化と産業の発展に結び付きます。例えば『ロウソクの科学』で有名なファラデーの「電磁誘導の法則」等をきっかけに電波が理論的に予言され、実証されたことが、今日のIT社会につながっています。このように、理学は基礎となる学問であり、社会に役立つものです。理学部での学びを通じて物事を多面的に見る力、論理的な思考で問題を解決する力を養ってほしいと思います。学生の皆さんが満足できる教育環境を整え、社会性、人間性を育てることで活躍できる人材の育成に努めていきます。



工学部長 森山 茂章 MORIYAMA Shigeaki 専門 機械設計・工作

ものづくりを通して知識・経験・交流を育む

専門性の高い6学科で構成される工学部。共通の基礎知識である、数学・物理・化学の学びを定着させ、実験や実習を含めた学びの環境の整備に引き続き取り組めます。学生の皆さんに、ものを創り出す過程で多くのことを学び取ってもらうために、学部や学科の垣根を越え、コミュニケーションを生み出す場所としての「ものづくりセンター」を有効活用していきます。地域との連携もさらに推進させながら、多くの感動と幅広い経験を提供できるよう尽力します。

医学部長 小玉 正太 KODAMA Shota 専門 再生・移植医学

環境変化に対応したカリキュラム編成を加速

医療を取り巻く環境が変化していく中、国家試験の在り方や求められる医師像も変わりつつあります。これまでもこうした変化に対応すべくカリキュラムの改編を進めてきましたが、その取り組みをさらに加速させていきます。国家試験の合格率向上を図ると同時に、学生の皆さんが高い目的意識を持って学問に取り組み続けられるよう、精神面も含めたサポートを行い、福大生の特長である高いコミュニケーション力を持ったあたたかみのある医療従事者の育成を目指します。



薬学部長 三島 健一 MISHIMA Kenichi 専門 生体機能制御学

多様な可能性の中で薬学の知識を發揮できる人材を育成

薬学部では授業アンケートを行い、詳細に分析し授業やカリキュラム編成に生かしています。また、医学科・看護学科、スポーツ科学部との協同学修は強化していきたい取り組みです。早い段階から将来を意識した教育を行うことで、薬剤師試験などに向けた着実な学修を進めることができると考えています。薬学は医療分野に限らず、食品や生活用品など、多くの分野に関わりのある学問です。多様な可能性の中で知識を發揮できる人材の育成に一層取り組んでいきます。

スポーツ科学部長 米沢 利広 YONEZAWA Toshihiro 専門 コーチ学

スポーツ熱の高まりを背景に支援体制を強化

ラグビーW杯で日本代表が活躍し、東京五輪が目前に迫るなどスポーツ熱が高まっている中、2019年3月に大学スポーツを統括する「大学スポーツ協会 (UNIVAS)」が設立されました。こうした機運を有機的に捉え、スポーツを支援できる体制づくりを進めたいと思います。「理論」と「実践」の融合を重視したカリキュラムや希望する進路に即したプログラムの下で、競技力と人間力を磨き、スポーツを通して「卓越性を持つ人材」の育成に努めます。



充実 CAMPUS LIFE

学びを最大限に生かして
自分の「好き」を極める



商学部第二部商学科
4年次生
阿部 太一さん

授業で学んだ知識が 自主研究にも生きてくる 大学で知った学びの面白さ

昼はアルバイトをして学費を稼ぎながら、夕方からは大学で勉強に励む阿部さん。商学部第二部商学科で、特に経営心理学や消費者行動論など、心の動きとお金の流れを結びつける授業を興味深く受講しています。

高校生の頃から早押しクイズが好きで、大学1年次には、学外の友人達とゲーム大会の企画に携わりました。そんな阿部さんにとって2年次にサブメンバーとして参加した「学生チャレンジプロジェクト」の仲間との出会いは大きなものでした。やりたいことに真っ直ぐ取り組む姿勢や行動力に刺激を受け、「自分ももっと主体的にやりたいことを突き詰めた」と、学びへのモチベーションを高めました。

阿部さんの自分年表

1・2年次 学生チャレンジプロジェクトに参加

- 学内ワークスタディ制度を利用し、学内事務のアルバイトに取り組み、2年次には「福岡大学特待生」として表彰を受ける。
- 「学生チャレンジプロジェクト」に参加。商学部第二部の魅力を伝えるパンフレットを作り、県内外60の高校に配布。



3年次

体験型謎解きゲームを制作

- 「ヒマラボ」の活動に参加。体験型謎解きゲームを自主制作し、学園祭で発表。マーケティングリサーチの授業で学んだアンケート作成と分析の手法が、プレイヤーの心理分析に生かされた。

体験型謎解きゲームをテーマに卒業論文作成

- 学んだ知識の総括として、卒業論文を作成。
- 「やさしい卒業発表会」など自主企画を立ち上げる。



充実のカマ 体験型謎解きゲーム×マーケティング

マーケティングリサーチの授業で学んだ具体的なアンケートの作成方法や分析手法を、自作した体験型謎解きゲームのプレイヤーの心理分析に生かすことができたと言う阿部さん。経営心理学や消費者行動論の授業で学んだセグメンテーションやターゲティングの重要性にも改めて気づきました。



高い満足度を与えることができた自作の体験型謎解きゲーム

興味に基づいた研究を 社会に出ても続けていきたい

完成した体験型謎解きゲームは、学園祭でも披露。この時阿部さんは、授業で学んだマーケティングリサーチの知識を生かしたいと、アンケートを実施し、回答をもとにした数値分析を行いました。その結果、「プレイヤーは、脱出の成否に関わらず、楽しいと感じる」という結果を導き出せたそうです。現在、この

をさせていて、学生に近い目線で物事を考えてくださる先生に強い魅力を感じたと言った阿部さん。3年次からは、森田先生を中心に運営されている「一般社団法人ヒマラボ」の研究員に志願。ヒマラボは、興味のある事柄について、知見や大学での学修内容を生かしながら研究する、学生と社会人による「コミュニティ」です。阿部さんは、これまでプレイヤーとして親しんできた「体験型謎解きゲーム」の制作に挑戦するなか、ヒマラボを通しての学びに没頭していきました。

プレイヤー心理をさらに検証し、卒業論文に落とし込んでいきます。また自身の経験値を先輩に伝えるために「やさしい卒業発表会」という企画も実施し、好評を博したと言います。

「大学での学びは、座学や実践、課外活動などの知識が相互に関連し合い、さらに理解が深まってくるので面白いです」と語る阿部さん。興味・関心に学びを生かし、積極的に実践していく中で多くの気づきを得ています。

「この4年間で、たくさんの自分の居場所ができました。社会人になっても会社内のコミュニティだけでなく、興味を持ったことに研究的視点を持って取り組み続けたいです」社員一人一人が、仕事を真面目に楽しんでるのが伝わってくる点に魅力を感じ、自動車学校への就職を決めた阿部さん。「いずれは経営やマーケティング、事業企画の部署で活躍したいと思っています。物事を楽しむ視点を自分なりに伝えていけたらうれしいです」と笑顔で話してくれました。

一問一答

阿部さんのキャンパスライフ

Q. 学内でお気に入りの場所はどこですか？

商学部第二部の部室棟（オリオンホール）です。ここには、学生が多く集っています。自分が所属する器楽部の仲間をはじめ、大切な学友がたくさんできました。

Q. 商学部第二部を選んだ理由は何ですか？

家計にあまり負担をかけずに進学したいと思っていました。福岡大学の商学部第二部は学内ワークスタディ制度が導入されており、昼間に無理なく働けます。さらに「七隈の杜」奨学金制度等の経済的支援も充実していることから入学を決めました。

時代を 先輩が 駆ける 先輩たち



異端だっという
伸び伸びと思いを描いて



九州旅客鉄道株式会社（JR九州）
取締役専務執行役員

田中 龍治さん

たなか・りゅうじ

1977年3月、福岡大学工学部土木工学科現
社会デザイン工学科卒業。同年4月、日本国有鉄
道に入り、1997年民営化により九州旅客鉄道株
式会社に入社。2004年都市開発事業部長、20
07年ジェイアール九州ハウスホテル株式会
社代表取締役社長、2010年九州旅客鉄道株式
会社取締役専務執行役員、2017年九州旅客鉄
道株式会社取締役専務執行役員、2017年専務
取締役専務執行役員、2018年6月現在。

将来の道を見据えて 「福岡大学の土木」を選んだ

約40のグループ会社を有し、鉄道事業をはじめ建設、不動産、ホテル、流通、外食など多彩な事業を展開するJR九州。同社の取締役専務執行役員・事業開発部長を務める田中龍治さんは「そのうち24社を管轄しています」と話します。福岡市中央区六本松・九州大学跡地の再開発、熊本や大分、宮崎の駅ビル、そして博多駅近くに2019年に誕生したホテル「THE BLOSSOM HAKATA Premier」など、話題のスポットを次々と手掛けてきた田中さんは、バイタリティーあふれる笑顔が印象的。取締役でありながら、社内ですれ違う若手の社員たちと気さくに言葉

授業もアルバイトも 好きなことに全力投球

「大学の授業がとにかく楽しくて仕方なかった」と語る田中さん。特に専門教育科目が始まる2年次からは無欠席。嬉々として授業に出席し、中でも夢中になったのが実験や実習でした。実験の時は先生に時間の延長を願い出て、一人で納得いくまでやっていたそうです。「福大には、当時から立派な機材がそろっていたんです。会社に入った後、大学時代に使っていた機材を見て、他大出身者が「これは何？」と聞いてきたので、自分たちは恵まれた環境で学修できていたのだと改めて感じました」

田中さんは山門郡瀬高町（現・みやま市）の生まれ。親戚が営む測量会社で、中学生の頃からアルバイトをしていたそうです。「高校まではほとんど勉強しなかった」と笑いますが、大学を選ぶ時は将来をしっかりと見据えて、大学の工学部土木工学科（現社会デザイン工学科）に決めたと話します。

「九州でこれから整備されていく新幹線や地下鉄、高速道路などに携わりたいと考えていました。他大学の建築系学科にも合格を得ていましたが、4年間福大で土木を学べば希望する進路先で活躍できると思い、進学を決めました」

田中さんが師事したのは、都市工学が専門の教授でした。90分ある授業の最後の30分は、当時4年次生だった田中さんが授業のサポートをすることもあったそうです。「学生なのに、先生の助手のような顔をしてみたい」と笑う田中さんですが、それほど先生から厚く信頼されていたことが伺えます。

人からの信頼を集めるという点で、田中さんの人間力が大きく発揮されたエピソードが、大学3年次のアルバイトでした。大学に届いていたアルバイト募集の中から、短期で楽なアルバイトを探す学生も多い中、田中さんが選んだのは新しくできるダム

の建設現場。夏休みを利用して40日ほど働きました。「まだ雑木林状態の土地で、地盤の改良や護岸工事など、いろいろなことを勉強できるに違いないとワクワクしていました」。田中さんに与えられた任務は、多分野の職人が集まる現場を管理すること。所長を含めてスタッフは4人、若手は田中さんともう一人という環境で寝食を共にしながら働いたそうです。「大変だった」と話が続くと思いきや、「毎日がものすごく楽しかったよ」とうれしそうに目を細めます。働きぶりも評価されて、アルバイト先から教授に電話があり、「田中君はすごいですね。知識と行動力があるから、3日目から現場の人たちに『主任』と呼ばれていますよ」と報告があったそうです。

卒論を2本書き上げるほど 学ぶことが楽しくて仕方なかった

持ち前の行動力と好奇心で、勉強にも情熱を傾けた田中さんは、大学3年次までに卒業に必要な単位をほぼ取り終え、4年次で卒業論文を2本書きました。「鉄道や道路、土質など幅広く興味があり、研究室の先生にやりたいことを話したら、別の先生のところにも行ってみたいと教えていただきました。結局二つの研究室を行き来し、2本の卒論を仕上げました。友人の卒論も手伝ったから、実質は2、5本かな。本当に学ぶことが楽しくて、とても充実した大学生活でした」

時代を先輩たちから駆ける



1 人事課係長時代に参加した海外研修にて(1994年) 2 学生時代にアルバイトした山神ダムのダムカードは今も持ち歩く 3 長崎線区助役時代(1985年) 4 JR九州ロゴの前で 5 若手社員とも気さくに意見交換をする 6 取材に協力いただいたホテル開発部の許斐さん(左)、広報部の板原さん(右)も福大の卒業生 7 2021年春開業予定の熊本駅ビル(イメージ) 8 長年の夢が形に 9 オープン直前までクオリティを高めたホテル玄関の装飾品 10 博多織を表したこだわりの外壁 11 日本らしく、博多らしく、細部までこだわり抜いた空間デザイン

身近なことから始めれば やがて大きな道に通じる

大学の学びを生かせる 技術系から人事、開発へ

大学卒業後は、国鉄(日本国有鉄道)に入りました。「ものづくりに関わりたくて、国鉄なら新幹線があると思ったんです」。北九州の門司に配属され、測量して電化工事をしたり、線路を強化したり、いろいろな鉄道ラインを計画し、施工まで担当しました。「君しかいない」と難しい仕事を打診されても、ひるむことなく受けて立ったと言います。入社10年後の1987年、民営化されてJR九州に。田中さんは人事部で社員教育にも携わりました。

田中さんに大きな転機が訪れたのは45歳の時。「そろそろ希望するところに行かせてください」と懇願し、アイデアを生かせる事業開発部門への異動を果たしました。まずは売上25億円ほどだったMJRというマンション事業を「5年で100億円にします」と社長に宣言。住宅会社のモデルルームを見て回り、東京にも足を運びます。「東京のモデルルームに行く」と上から降りてくる食器棚やディスプレイ、食洗器など最新設備があり、それらをいち早く九州に持ち込みました。また、不動産や金融など関係者と信頼関係を築き、

有益な情報交換を心掛けました。その結果、5年で100億円という目標を仕事に達成したのです。

部長になったタイミングで、社員と共に宅地建物取引士の資格試験にも挑戦。社員28人中合格者は3人という狭き門でしたが、その中に当時49歳の田中さんの名前も、もちろん入っていました。不合格だった部下にプレッシャーをかけるのではなく、テキストを発行している出版社と交渉して、社員向けの宅建対策講座を始めたという後日談も。その講座のおかげで翌年から合格率が上がったそうです。

現地を歩くことで得られる 情報やイメージが大切

その後は、ホテルや駅ビルなどの開発を意欲的に手掛けてきた田中さん。その際、ずっと大切にしてきたのは、現場を見て歩くことです。例えば、熊本駅ビルの開発にあたっては、主に週末を使って30日ほど地元を歩いたと言います。熊本城や市内はもちろん、レンタカーで白川水源や鍋ヶ滝へも足を延ばしました。「自分がどんなものを作りたいのか、どうすれば地元と根差して愛されるか、多くのものを見て感じてイメージを膨らませていきます。熊本城

の重厚な黒と天守の白を取り入れて、鍋ヶ滝と白川水源のイメージで水を流して...というように。興味を持ち観察して、どれだけ思いを込めるかというのが重要なんじゃないでしょうか」と言葉に一層熱が入ります。大分駅ビルには温泉があったり、宮崎駅ビルには青島の波状岩をモチーフにした洗濯板のようなデザインが施され、中には神社があったりと、田中さんが手掛ける建物には地元ならではのストーリー性と驚きの仕掛けが盛り込まれています。

現在は取締役や事業開発本部長として、社員が提案する新規事業を聞き、アドバイスしたり判断したりする機会が多いという田中さん。ご自身が失敗した経験はないのでしょうか。そう尋ねると、間髪入れず「役員になって10年で失敗したことは無いかな」と豪快に笑います。そしてふと真面目な表情になり、こう教えてくれました。「失敗というのはね、リスクを読み切れないから起こると思う。私はどんな仕事をするときもリスクを最低5つは挙げて、次の打ち手まで考えておくようにしています。失敗しそうなことも、次を考えておけば大丈夫。思いついたことはノートに書き留めています」。

リスクを読み切ること 失敗を回避できる

現地を歩くのは、駅ビルを作る時だけではありません。沖縄でホテルの建設地を探していた時は、「ここにホテルが建ったらどうか？」と土産屋の店員さんに話しかけて重要な情報をつかんだり、マンションの建設地では地元の方との立ち話から大雨時は水があふれると聞いて土地を高くしたりと、自ら歩き自分の五感を使って集めた情報を生かしています。

座右の銘は「隼より始めよ」。田中さんが国鉄時代から心に刻んできたものです。「いろんな課題がある中で、まずは自ら身近な課題にコツコツ取り組んで成果を上げることが大切。駅ビルやホテル開発も、担当者には最初に絵を描くところからオープン後まで長く関わってもらって、並々ならぬ思い入れと愛着を持って仕事を進めてくれるんですよ」。

JR九州の企業戦略の一つに「異端を尊ぶ」があります。「従来になかった新しい見や考え方を排除することなく、耳を傾け、成長と進化の糧にしようということ。少し変わった人が良いんです。大きな夢を描き、思い入れを持って仕事をやる人になってほしい。そういう意味で、福大出身者はユニークな人が多い。社内外を問わず仕事をしたい『この人は何か違う』と思ったら、福大出身だったということが結構あります」。

人一倍好奇心旺盛で、豪快さと緻密さを兼ね備え、新しい道を切り拓いてきた田中さん。今は異端児を育てることが私の使命。そう語る田中さんの笑顔は実に楽しんで、エネルギーに満ちていました。

就活
STORY of
JOB
HUNTING
メモリー



株式会社大和速記情報センター
速記部
植山 華子さん
(人文学部日本語日本文学科 2015年卒業)

日本の古典や日本語が好きで
言葉で文字で記録する職に就く

株式会社大和速記情報センターは、官公庁等の会議や講演、インタビューなどの録音をもとに会議録を作成している老舗の速記会社です。植山さんは九州・沖縄、山口を管轄する福岡営業所に勤務して5年目。各地の会議に向いてその場で録音したり、お客様から送られてくる録音データを聴き、文字起こし業務を担当しています。

「いろいろな分野の話を聞けることが楽しく、難しい専門用語は間違いないか調べて書き起こします。スピードがかつ正確に文字にすること、発言内容はそのままに、より読みやすく修正することを求められるので、さらにスキルアップしていきたいです」
日本の古典が好きだった植山さんは、日本

焦らず自分のペースで
納得のいく就職活動を

語や文学を学ぶため福岡大学人文学部日本文学日本文学部に進学。1年次から興味深い授業が多く、特に江戸文学を読み込んだり、沖縄県宮古島の方言に触れたりして、日本語の奥深い世界に魅了されました。

大学の勉強を大切にしながら
就活にも集中して取り組んだ

将来のビジョンが定まらない中、2年次の授業で三浦しをんさんの小説『舟を編む』に出会い、「本に関わる仕事は面白そう」とピンとききました。3年次の後半から学内で開催される就職ガイダンスや合同企業説明会に参加して、少しずつ就活モードに。4年次になると本の、紙に興味を持ち、製紙会社など約10社にエントリーしましたが、内定には至りませんでした。

リアル就活ストーリー

1、2年次

- 小学生の頃から打ち込んできたバレーとガールスカウトの活動を継続
- 必修や専門課程の授業を受けて、古代語や江戸近世文学などに興味を持つ



くずし字のテキストと、在学中に作った和綴じの本

3年次

- 2つのゼミに絞り、熱心に勉強に取り組む
- 冬 学内のガイダンスに参加したり、就職・進路支援センターで「就職サポートBOOK」を入手するなど、就職活動の準備を進める
- 3月 学科の「訪書旅行」に参加



訪書旅行では、京都大学で貴重な資料を見たり哲学の道を巡った

4年次

- 4月 学内の合同企業説明会に参加
- 7月 前期試験に向けて勉強に集中
- 9月 ゼミの先生に株式会社大和速記情報センターの求人を見せてもらい、エントリー
- 10月 筆記試験と一次面接、最終面接を経て株式会社大和速記情報センターに内定

夏は大学の前期試験に集中するため、一度勉強モードに切り替えた植山さん。試験終了後ゼミの食事会で「求人が来てるよ」と先生に教えてもらったのが今の会社でした。「多彩な話を聞ける仕事で、自分が起こした原稿が報告書などの形に残るのいいなと思いました」。

筆記試験・面接を経て最終面接に進み、内定を獲得。納得して就職活動を終了し、卒業までの期間は卒業論文に力を注ぎました。「私の周りは就職を目指す人が多かったため、就職希望でない私は、スピード感を持って行動することを意識し、勉強と就職活動のメリハリをつけることができました。就職活動は周囲に振り回されず、自分のやりたいことは何なのかという軸を持って自分のペースで取り組むことをおすすめします」と語ってくれました。

【就職・進路支援センター公式ウェブサイト】<https://www.career.fukuoka-u.ac.jp/>
FUポータルやFacebook、Twitterでも就職や進路に役立つ情報を随時発信中です。

- グループワーク・グループディスカッション講座
2月25日(火)～28日(金)
3月30日(月)・31日(火)
- 学内個別企業説明会
3月2日(月)以降
- 面接突破セミナー
3月9日(月)

- 【全学生対象】
- 学内合同業界研究会
1月31日(金)・2月1日(土)
- 業界研究セミナー
2月12日(水)～14日(金)、17日(月)・18日(火)
- 学内OB・OG訪問会
2月15日(土)
- 九州・山口・広島UIJターン合同企業研究会
3月12日(木)

※詳細はFUポータルで確認ください。

「自分は何がしたいのか」
自問自答の末に見つけた進路

国内で初めてアルカリ乾電池を生産し、カセットテープやリチウムイオン電池など、生活に密着した製品を開発・生産しているマクセル株式会社。入社4年目の日下部さんは、有機ELパネルの量産化に必要な「蒸着用高精度ハイブリッドマスク」の設計・開発に参加してきました。2019年秋、量産化に成功。日下部さんは開発に携わる醍醐味を日々感じています。

日下部さんが就職活動を意識したのは、2年次の冬でした。大学で開催された「業界研究セミナー」に参加して「自分は何をしたいのか」と自問自答するうち、「生活に役立つものを作りたい」「将来、自分の子ともに誇れるものを作りたい」という思いが強くなりました。そこで研究室の機器や薬品、普段使っ

ている電化製品の製造会社に注目し、学内外の合同企業説明会に参加。その一方で先生方と就きたい職について話し合い、企業情報を得ていきました。「常にアンテナを張って自分で探していかなないと、必要な情報は得られない」と思っていました。

そして見つけたのが、マクセル株式会社でした。4年次の6月、工場見学へ行き、高い技術力、商品の独自性、部署の垣根を越えて開発に取り組む柔軟性に魅力を感じ、同社に絞って就職活動をしました。

早めの準備と
余裕ある行動が実を結ぶ

希望の職に就けた理由について、日下部さんは「ゴールを決め、そこから逆算して行動したから」と分析します。4年次に内定を頂

くために、3年次は研究室での研究や就職活動に集中する。そのためには1・2年次は勉強に励む必要を単位を取得しておく。事前の計画と行動によって、研究や就職活動に専念できたのです。

また、塾講師のアルバイトが「考えのアウトプット」の練習になりました。「授業は知識を頭に入れるインプットが多く、初めてのアウトプットの機会は就職活動の面接となりがちです。アルバイトが自分の考えを分かりやすく伝える訓練になっていたため、面接で慌てることはありませんでした」。

日常生活の中から将来の夢につながるヒントを得て行動に移っていた日下部さん。次の夢は、世界に誇れる技術を広めていくことです。日下部さんはまた、新たなゴールに向かつて進んでいます。

INFORMATION

就職・進路支援センターからのお知らせ

3年次生・大学院1年次生は、就職活動が本格的にスタートする時期です。まずは、気軽に就職・進路支援センターへ足を運んでみてください。

- 【2020年3月卒業見込者対象】
- 学内合同企業説明会・選考会
2月7日(金)
 - 集団模擬面接
2月12日(水)～14日(金)、17日(月)～19日(水)
3月25日(水)～27日(金)
 - 1日で自己PRから履歴書が描けるようになるセミナー
2月19日(水)
 - エントリーシートの書き方セミナー
2月20日(木)・21日(金)
 - 3時間で面接のコツを体感するセミナー
2月26日(水)・27日(木)
- 【3年次生・大学院1年次生対象】
- 大学院就職ガイダンス
1月14日(火)
 - 第4回就職ガイダンス
1月29日(水)・30日(木)
 - SPI対策セミナー
2月7日(金)・8日(土)

「就職活動のゴール」を決めて
準備していこう



マクセル株式会社
ライフソリューション事業本部
日下部 弘樹さん
(工学部化学システム工学科 2016年卒業)

リアル就活ストーリー

1年次

- 3年次に研究室の研究や就職活動に集中できるよう、履修可能な全ての授業に出席。勉強とアルバイトで多忙な日々を送りながら学びを深めていく



試験前は友人と勉強会を開く

2年次

- 冬 業界研究セミナーに参加

3年次

- 冬 大学院への進学も視野に入れながら、エントリーする企業の絞り込みを進める

4年次

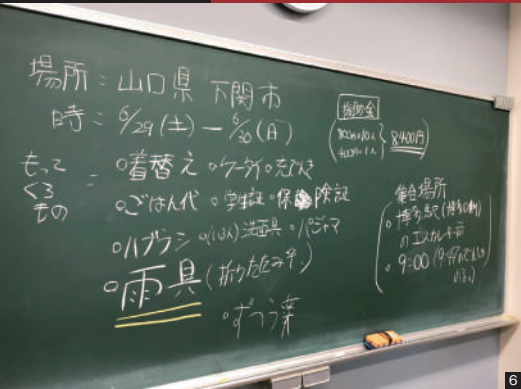
- 3月 エントリー先を1社に定め、講座等でエントリーシートや履歴書の書き方を習う
- 4月 マクセル株式会社に入社
- 6月 マクセル株式会社の工場見学に参加。社員の方から企業風土、仕事内容等を聞く
- 8月 最終面接を経て、内々定



研究室の仲間と



「学生らしい旅」をテーマに 仲間と多様なチャレンジを楽しむ



旅研究部

1964年に愛好会として発足。部員は1年次生14人、2年次生9人、3年次生13人、4年次8人の計44人。火・木の18時～20時で8号館もしくはA棟で活動

年間行事

- 3月 春季遠征、春季合宿
- 5月 GWの旅、ナイトウォーキング
- 6月 学術文化祭、新入生歓迎登山
- 7月 前期班旅
- 8月 夏季遠征
- 9月 夏季合宿
- 10月 七隈祭事前合宿
- 12月 後期班旅

1 大分県竹田市の黄牛の滝の前で 2 夏季遠征 3 旅行先の神社仏閣でのお参りも楽しみの一つ 4 合馬竹灯籠まつり(北九州市)にて 5 ハードな旅行も仲間と一緒になら最高の思い出 6 ルールに基づいた「学生らしい旅」を計画



「次の勝利に向けて 仲間と切磋琢磨し続ける



ソフトテニス部

1949年設立。部員は1年次生12人、2年次生14人、3年次生7人の計33人。平日16時30分～20時30分(月曜日以外)、土・日9時～17時、総合体育館横のテニスコートで練習している

年間行事

- 3月 春合宿
- 5月 全九州学生ソフトテニス春季リーグ戦大会
- 6月 全日本大学ソフトテニス王座決定戦
- 7月 西日本学生ソフトテニス選手権大会
- 8月 全日本学生ソフトテニス選手権大会
- 10月 全九州学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会
- 11月 九州・四国・中国三地区学生ソフトテニス大会

1 仲の良さが強さの秘訣 2 勝利の瞬間、チームメイトに駆け寄る仲間たち 3 スマッシュの音が響き渡るコート 4 ハードな練習中も笑顔と思いやりを忘れない 5 練習終了後にそれぞれのフォームや練習についてアドバイスを受け、自主練に励む

昨 年、発足から55年目を迎えた旅研究部。「学生らしい旅」をモットーとして、基本原則として飛行機と新幹線、自動車を使わない「グリーンな旅」を6回ほど実施しています。時刻表の見方から経済的な旅行プランの立ち方、テントの使い方、野外調理の仕方まで部内講習会があるのも魅力。

メイン行事は年2回の遠征。夏季は「100kmウォーキング」をテーマに、今年度は3班に分かれて長崎の大村湾や吉岐などを5日かけて歩きました。期間中は携帯電話の使用は禁止で、持参した米とインスタントみそ汁のみを食べ、テントに泊まります。

前幹事の出水雄大さん(法学部経営法学科3年次生)は「歩いていると地元の方から『何してるの?』『車に乗せて行こうか?』と声をかけられ、人の温かみを感じることが多かった」と話します。

春季遠征は、班ごとに1週間好きな所へ行きます。電車を乗り継ぎ、福岡から北海道まで行った班も。どの旅も絶景に感動したり、ゲストハウスで外国人と交流したり、部員の仲間意識が高まったりと楽しみはいろいろ。「人への気配りやコミュニケーション力が付き、予想外の出来事にも動じず対応できるようになりました」と現幹事の藤野朝光さん(商学部経営学科2年次生)は話します。旅研究部での活動を通して旅行業に興味を持ち、ホテルへの就職が決まった先輩もいるそうです。あえて便利さを避け、知恵と工夫と助け合いによって多彩な旅を楽しむ旅研究部。学生ならではの旅の数々は「生の思い出になりそうです」。

2 019年全日本大学ソフトテニス王座決定戦で、全国2位という成績を収めたソフトテニス部。その歴史は古く、福岡大学の前身、福岡商科大学の発足と同じ、1949年に設立されました。

激しいスマッシュの音と、掛け声が響き渡るテニスコート。オン・シーズン(3月～11月)は、週に度の休み以外、土・日も練習に励んでいます」と話すのは幹事の末吉慶如さん(スポーツ学部健康運動科学科3年次生)。入部当初は、高校時代の部活動よりもはるかに多い練習量と、学業との両立に戸惑いを覚えたそうです。それだけのハードな練習をもつても、なかなか成績が振るわない苦しい時期が続いたころ、部内に大きな変化が起こります。

「見えない壁をつくらないようにしようと全員で意識を変えていきました。先輩・後輩の垣根を越えてアドバイスを合ったり、褒め合ったりと、話しやすい雰囲気を作った。それが積極的につくっていただきました。そのおかげで切磋琢磨しながら、支え合えるチームワークが生まれたと感じています」。キャプテンの松山雄磨さん(スポーツ学部スポーツ科学科3年次生)は当時を振り返ります。

「適度な距離感を保ちつつ、時に尊敬し、時にライバルとして向き合う良い関係性を築けたことが、好成績につながったでしょう。今後は後輩の活躍に期待しながらも、自分たちの技術も高めていきたい」と語ります。今年8月の全日本学生ソフトテニス選手権大会、ベスト4進出を目指して日々の練習に打ち込んでいます。

電波暗室

外部からの電波を遮断し、無線機器などの電波測定に使用される電波暗室。
1977年に旧4号館に完成。500メガヘルツ以上の電波を測定できる施設としては、当時九州唯一のものだった。
現在は、新しくなった4号館で次世代通信規格「5G」をはじめとした通信システムの実験など、最先端の研究が行われている。



令和元年度 第15回 学生チャレンジプロジェクト

福岡大学の学生が自主的で自由な発想から企画した独自のプロジェクトを、大学が物心両面から支援する「学生チャレンジプロジェクト」。

15回目の今年度は、3つのプロジェクトが採択されました。

学生目線の発想から生まれた挑戦をご紹介します。

NO MORE レジ袋



社会人向け学校説明会



ふく大運動会プロジェクト



学生チャレンジプロジェクト
詳細はこちらから。

NOMORE レジ袋

プロジェクトが背中を押した
自分へのチャレンジ

日頃からマイバッグを持ち歩くなど、レジ袋の使用はもったいないと考えていた代表者の塔村真奈さんは、学生チャレンジプロジェクトの機会を利用して「レジ袋削減を周知するとともに、リーダーシップを養いたい」と「NOMORE レジ袋」プロジェクトを企画しました。

当初は単独での実行を考えていた塔村さんでしたが、ある先生の助言があつてゼミの仲間にも声をかけたところ、4人が加わってくれたことになりました。学内で最もレジ袋の使用量の多い売店「オアシス」を対象に、レジ袋のセルフサービスと、レジ袋にメッセージを印刷して呼び掛けを行う計画を立てました。



DATA

代表者	塔村 真奈さん (商学部経営学科4年次生)
メンバー	5人
内容	学内で持ち運ぶだけでなく使用され、すぐに捨てられるレジ袋の使用量削減と、環境改善へ向けてエコロジーの意識付けに取り組む。

レジ袋の使用量が
1・2以下になった日も
手応えを感じられた呼び掛け

呼び掛けは11月下旬から12月上旬までの2週間、利用者の多い10時30分から13時まで実施。テレビドラマや広告などを参考にアイデアを出し、インパクトのあるチラシとポスターを制作、10月から学内の立て看板やオアシス内に貼ってアピールしました。

実施期間中は、それまで1日平均1,500枚だったレジ袋の使用量が702枚と半分以下に減った日もあり、手応えを感じたというメンバー。「中にはレジ袋を再利用する学生もいて、こちらが驚かされました」と振り返ります。2週間やり切ったことが何よりも自信につながったと話します。

社会人向け 学校説明会

大人が学ぶ機会を増やす
きっかけづくりの説明会

疑問や不安を払拭する
ワークショップ形式で対話

DATA

代表者	寺田 緑さん (高学部経営学科1年次生)
メンバー	5人
内容	社会人学生の立場から、大人が学ぶ機会を人生の可能性を広げる選択肢の一つとして提案し、社会人入学希望者へ役立つ情報を提供する。

自身が社会人入試を経て入学した経験から「より多くの社会人に大学入学を現実的な選択肢として捉えてもらうため、情報収集に役立つ交流の場をつくりたい」と感じた代表者の寺田緑さん。社会人入学希望者に特化した学校説明会の実施を企画しました。

コミュニケーション・スキルズ養成プログラムで知り合った現役入学のメンバーとともに「堅苦しくない説明会にしよう」と、ワークショップ形式の会を企画。入試のために時間を十分に取れない社会人の状況を意識し、在学中の社会人学生6人にインタビューを行うなどして準備を進めました。



2019年12月17日(火)に開催した説明会では、前向きな会にできればと、多くの人が参加しやすい天神のコーキングスペースを借りて行いました。

「仕事と勉強を両立させるための時間のやりくり」や「年下の学生とのコミュニケーションの取り方」「年齢制限のない奨学金制度」など、寺田さんをはじめ、社会人学生が実際に感じた学生生活での不安や活用した制度なども含めて質疑応答を行いました。参加者からは「もう一度学びたいという気持ちが再燃した」「諦めていたけど大学に通う未来が少し見えた気がする」といった声が上がりました。

ふく大運動会 プロジェクト

スポーツを通して
一緒に一つのものを楽しむ

垣根なく思いきり楽しんで
心が通い合った運動会

DATA

代表者	中川 裕太さん (法学部法律学科3年次生)
メンバー	6人
内容	大学生が社会に出る前に、企業や学校に通う障がいのある人について考えるきっかけづくりを目的とし、運動会を通じて交流の機会をつくる。

「ベンチャー起業論」の授業を通じ、企業で働く障がいのある人と関わった経験を生かして、「学生と障がいのある人たちが身近にコミュニケーションを取る機会をつくりたい」と感じた代表者の中川さん。障がい者と支援者という関係でなく「一緒に一つのものを楽しむ」目的で、大学名と幸せをかけた「ふく大運動会プロジェクト」を思いつきました。

競技内容については、知り合いだった福岡出身の障がい者アスリート・永野明さんにアドバイスをもらいながら、メンバーとアイデアを出し合い、競技や進行を練っていました。



10月末からは参加者集めをスタート。学内では、教職課程を履修する学生や看護学科を中心にチラシ1,000枚を配布。一般参加者に向けては、20社以上の企業や福祉関係の施設に呼び掛けるなどして奔走した結果、10社に協力いただきました。

2019年11月23日(土)に開催した運動会には、学生23人・一般参加者50人が参加。競技の合間に昼食を挟み、肩を並べて一日過ごすことで緊張もほぐれ、いいムードに。「一般参加者からは「新しい挑戦ができた」などの声が聞かれ、学生からは「初めての経験だったが楽しかった」「また機会があれば参加したい」との意見がありました。

ものづくりセンター

学部学科を越えた活気ある学びの場で、創造力を養う



サークルの活動で家具を製作中。職員のアドバイスを受けながら実践する

トライ&エラーを繰り返す過程を重視

2018年4月に開設された「ものづくりセンター」は、工具や機械を使ってさまざまなものづくりにチャレンジできる4号館内の施設です。学生が「習う」ではなく自発的、積極的に「学ぶ」場として、また全学部が一つのキャンパスに集まっている本学の特長を生かし、文系・理系が共に切磋琢磨する場になることを目的として設置されました。

施設内にはドライバやベンチなどの手道具から、3Dプリンター、レーザー加工機といった大型機械までそろい、多彩な製品を作ることが可能です。文系・理系問わず、多くの学生がものづくり初心者のため、まずは「こんなものを作ってみよう」といった質問や相談からスタートすることが多いようです。

センターには工学部の熊丸憲男先生と、木工、金属加工、電子回路・プログラミング

便利な時代に創意工夫する力を

さらに、センターでは「プロジェクト」と呼ばれる活動も行っています。これは他学部の学生同士がグループになり、ものづくりの競技会やコンテストに参加する取り組みで、協調性やコミュニケーション能力を高める場にもなっています。現在、ソーラーボート、ロボコン、インテリアデザイン、エコーランカーの4つのプロジェクトが稼働中です。



広い作業室は、文系・理系の学生たちが集い、高め合う場所



工具の収納ケースなどはセンター職員が手作り



ものづくりセンターで製作した木工品の数々



レーザーラフトでは財布やティッシュケースなども製作可能



万全のサポート体制で学生のものづくりをサポート



初心者でも安心してものづくりが可能

センター開設後、ものづくりの技術力が向上したことはもちろん、プロジェクトへ積極的に参加したり、センター内で自発的に活発なコミュニケーションが生まれたり、学生の活気が顕著に現れていると熊丸先生は話します。「現代社会は便利ゆえに、創意工夫する力が低下していると思えます。学生の興味をいかに育てるかが課題です。創造力とは学ぶ力。自ら取り組まなければ、その力は養えません。ものづくりセンターでの経験を通して創造力を伸ばし、ものづくりの楽しさを伝えていきたいと考えています。ものづくりに少しでも興味がある人は、気軽に相談に来てほしいです」。

充実の設備と、先生方の知識・技術で学生の創作活動を支援するものづくりセンター。学部を越えた交流で学生たちが刺激し合い、学ぶ力、実践する力を養う場となっています。

学びのプロセス



1 気づく
「こんなものが作りたい」という自分の興味に気づき、ものづくりセンターへ。1時間の基礎講習受講でセンターの利用が可能。

2 相談
製作に必要なものや工程について相談し、作業内容を理解する。センターには各分野の先生が常駐しており、学生の創作意欲をサポート。

3 実践
工具や機械を使ってトライ&エラーを繰り返し、イメージしたものを完成させる。文系・理系相互の交流により、新たなアイデアが生まれることも。

先生の声



ものづくりセンター
熊丸 憲男 准教授

無意識を意識することがものづくりの出発点

ものづくりの魅力は、デザインや機能をカスタマイズして自分専用のものを生み出せるところにあります。完成までは苦勞もありますが、出来上がったものが生活を楽しく便利にしてくれる。それは工学の原点でもあります。創造力を高めるために大切なのは「無意識を意識すること。普段、何気なく見ているものの色や形、素材などを意識して観察してください。改良すべき点や新しい製品のアイデアが浮かんでくるでしょう。そんな創意工夫する楽しさをぜひ、ものづくりセンターで体験してほしいと思っています。

学生の声(理系)

理学部化学科 1年次生
川上 七海 さん



試行錯誤しながら完成させる楽しさを実感中

最初から最後まで自分の手で創作活動ができる環境が学内にあり、とても恵まれていると思っています。私はものづくりセンターのマスコットキャラクター「ビバ吉」をデザインしたのですが、ポスターやぬいぐるみなど、作ったものがさらに派生していく喜びも実感しています。「私一人では作れないかも」と思うようなものでも、試行錯誤しながら完成へと進めていく過程がとても楽しいです。学部や年齢を越えて、人と関わるものづくりセンターで刺激を受けながら、発想力を磨いていきたいと思っています。

学生の声(文系)

法学部経営法学科 1年次生
小原 碧衣 さん



他学部生との交流が刺激になり新しいアイデアが生まれる

雑貨が好きで、いつか自分で作ってみたいと思っていた時に、ものづくりセンターを知りました。センター内で他の人が作った作品や実際の工程を見るたびに、創作意欲が増しています。独学では分からなかった機材の使い方や、加工の方法などを先生方に教えていただきながら自分で扱えるのがとてもありがたいです。工学部に友人もでき、ロジカルな考え方に触れ、とても良い刺激ももらっています。授業では出会えなかった人との交流を楽しみつつ、新しいアイデアを形にしていきたいです。

ツイッターでも情報発信中!



ものづくりセンター・ビバ吉

研究室を
訪ねて



環境負荷を抑え循環型社会に適應する
マテリアルリサイクルの技術開発を主導



工学部化学システム工学科
八尾 滋 教授

プラスチック本来の
力を生かし資源循環の
あるべき姿を追究する

レジ袋や車の内装材など、私たちの生活に深い関わりを持つプラスチック。八尾先生は、素材自らが組成を並べ整える力を利用して、廃棄プラスチックから、より強度の強いプラスチックを作る基礎研究や機能性材料の開発を行っています。

企業での勤務時代、中小企業の技術コンサルティングや環境省から委託された調査研究を担当していた八尾先生は、現場で「廃棄プラスチックは再利用すると性能が落ちるため使えない」という課題に直面し、研究への意欲が高まったと言います。福岡大学着任後は、プラスチックの性能が落ちる原因を、業界の通説である「使用過程で紫外線を浴びたことなどによる化学劣化」ではなく、「無理な成形をすることで分子構造が歪みを起こしたことによる性能低下」であり、加工に工夫さえすれば元に戻せることを研究



研究室に設置された大きな装置。改良と研究を重ね、高性能のプラスチックを生み出すことに成功

で解き明かしていきました。

最初の約3年は学会で発表しても聴衆はほんの数人。しかしその後、世界的に廃棄プラスチックの循環利用が進まないことによる環境負荷の課題が大きく取り上げられるようになり、八尾先生の研究も脚光を浴びることになりました。昨年7月には、NEDOの先導研究プログラムに採択され、民間企業10社と

大学研究機関8校で、プラスチックのリサイクル技術開発の研究に取り組んでいます。八尾先生はこのプロジェクトリーダーを任されています。「分子構造を崩さずに再生させる技術がラポレベルでは実証できていますが、今後は実用生産に向けた材料開発を進めていきます」と八尾先生。また合成高分子は、従来のプラスチックだけでなく、半導体や人工臓器などの新しい用途での応用も次々に提案されている可能性の広い分野です。「新しいアイデアを生かす余地がまだまだあります」と展望を語る八尾先生の挑戦は、これからも続いています。

研究スイッチ | 研究への思いとオフの顔を知る2つの質問

Q.1 研究室では学生にどのような力を身に付けてほしいですか。

A. 常識を疑い行動を起こすことで、新しい発見をしてほしいです。

「常識は必ずしも真実ではない」という意識とチャレンジ精神を持って行動してほしいと思っています。廃棄プラスチックの研究では、学生と一緒に新品のプラスチックと廃棄プラスチックを割り、破断面を見比べたことで内部構造の違いを発見、新たな真実を見つけることができました。学生には、企業見学や展示会などに足を運びその場で社会的な流れを体感してもらいながら、「自分の意見を持って物理的に考え、真実がどこにあるのかを見極めよう」と伝えています。

Q.2 先生の趣味は何ですか。

A. 歴史や社会的背景を踏まえて、国内外いろいろな場所を巡ることです。

企業時代に試したかった研究が今できているので研究が趣味の派生のようなものですが、あえて言うなら、共同研究を行う企業などを訪問する際に、その土地を巡ることが好きです。学会発表等では海外にも行き、歴史的建造物などを見てはその背景に思いを馳せています。これまでアウシュヴィッツ強制収容所や、チェンマイの寺院も訪れました。過去に大きな戦争があったような場所を訪れると、歴史により深く実感が伴います。

PROFILE

YAO Shigeru

1981年京都大学工学部卒業。1986年同大学大学院工学研究科博士過程満期退学。博士(工学)。1986年に学部興産株式会社入社。2006年、次世代テーマ探索グループ長兼ナノテクノロジー推進グループグループ長。その後、株式会社三菱総合研究所で4年間の勤務を経て、2011年から現職。専門分野は高分子材料、材料設計。



企業に勤めていた時の気付きが、今の研究につながったと語る



2017年10月にベトナム・ハノイで開催された「AWPP2017」にて

がんや特殊疾患の 早期治療を推進

人の生命に寄り添い、病気の治療と予防に立ち向かう福大医療と医療人のレポート



医学部 消化器内科学 教授
福岡大学病院 消化器内科 診療部長
平井 郁仁 先生

日常的な疾患から希少疾患、 緊急疾患まで消化器を包括的に診療

食道、胃、大腸、肝臓といった腫瘍性疾患や炎症性腸疾患など、消化管と肝臓に関する全ての疾病の診療を行う、福岡大学病院消化器内科。消化管や肝臓など、より細分化した科を設ける病院も多い中で、本科では消化管グループと肝胆膵グループが「消化器内科」として統合し、包括的に診療していることが大きな特色です。

2019年4月に診療部長に就任した平井郁仁先生は、「消化器全体の診療を一つの科で完結させられることは、科ごとにも移動するといった負担が少なく患者さんにとって、良い体制だと思います」と話します。

日常的な疾患や希少疾患、救急疾患を網羅的に診ることができるのも本科の特色。大量消化管出血や腸閉塞といった緊急性の高い患者さんも多く搬送され、本病院救命救急センターとも密接に連携しながら、幅広く診療に対応しています。

消化器外科のフォローが よりアグレッシブな治療を可能に

診療を行う上で平井先生は「外科のサポートがないと本科は成り立たない」と消化器外科との連携を強調します。週に1回、外科と合同で内視鏡のカンファレンスをはじめ、外科手術のカンファレンスにも内科メンバーが参加して、外科的視点を積極的に取り入れています。

べき重要な任務です。特に炎症性腸疾患が原因となる炎症性発がんなど、発見が非常に困難な症例の診療は、知識や経験はもちろん、最新鋭の設備が充実している本科が担うべき使命だと考えています。本科には消化器専門の病理医がいるのも大きな強み。正確な診断を支えに、見つけ出すことが難しい症例にも対応しています」と平井先生。

希少な疾患の診断も然りです。「消化器には珍しい疾患が多く発症します。例えば小腸の細くなった箇所など、検査がしづらい場所に出血や腫瘍が発生した場合、特殊なカプセル内視鏡やダブルバルーン小腸内視鏡を使った検査や治療が必要。高度な機材が整った本科こそが担うべき役割です」。

他病院とも密に連携を取りながら、消化器系の予防・治療に全力で取り組みます。

「外科とのディスカッションは非常に大切です。患者さんの年齢や体調などを踏まえ、その人にとってより負担の少ない、最善の治療が導き出せるからです。また日頃、顔を合わせてコミュニケーションを密に取り、厚い信頼関係を築いているからこそ、そのフォローを支えに、難易度が高くリスクを伴う腫瘍切除やバルーン拡張術にも積極的に臨めるのです」

今後は、こうした診療各科との連携をさらに進めていきたいと話す平井先生。「着任後、消化器内科に関係が深い小児科や神経内科、放射線科とは意識して連携を強めてきました。特に私の専門である炎症性腸疾患は、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床工学士などさまざまな人が関わる領域です。他科、他職種連携は、さらに推進していくべき今後の課題です」と言葉に熱が込められます。

最新鋭の設備と専門スタッフで 難易度の高い疾患に立ち向かう

患者数の増加に伴い、外部の医療機関との連携も重要な課題です。福岡市城南区、南区、西区、中央区および糸島方面の医療従事者とは、年に2回症例報告会を実施。さらに本科主催の各疾患の研究会や講演会などを通して、ネットワークの強化を図っています。

「日本人の死因1位はがんで、その半数以上が消化器系のがん。他領域に比べて圧倒的にがんの発生率が高いため、早期発見に貢献することが、大学病院の果たす

福岡大学病院 消化器内科

2000年4月に「第三内科」として開設。総勢30人の局員のうち、約半数が肝臓の専門医、残り半数が消化管の専門医。ラポスタッフとメディカルクラークのスタッフは合わせて約10人在籍する。病床数は45床。

Close-up

患者さんの人生に寄り添う仕事



平井先生が専門とする炎症性腸疾患には、代表的疾患として潰瘍性大腸炎とクローン病という二つの難治性疾患があります。いずれも以前は希少疾患でしたが、環境の変化などさまざまな要因により、ここ30年で患者数が約10倍と急増。若年で発症し、治療期間も長くなるため、必然的に進学や就職、結婚、出産など、人生の分岐点に立ち会うことになり、患者さんの数だけ治療の選択は異なります。数多くの患者さんを医師としてだけでなく一人の人間としても見守ってきた平井先生は、「患者さんとの信頼関係が、適切な診療を行う上で非常に大切」との思いに至ったそうです。

「“エビデンス”という言葉も、医学的な根拠といった意味だけでなく、患者さんと医師がきちんと信頼関係を築き、意思決定する、道筋作りの重要性も表しているのです」。患者さん一人一人に丁寧に寄り添いながら診療を積み重ねる姿はまさに、「あたたかい医療」を表現しています。



週1回行われるカンファレンス



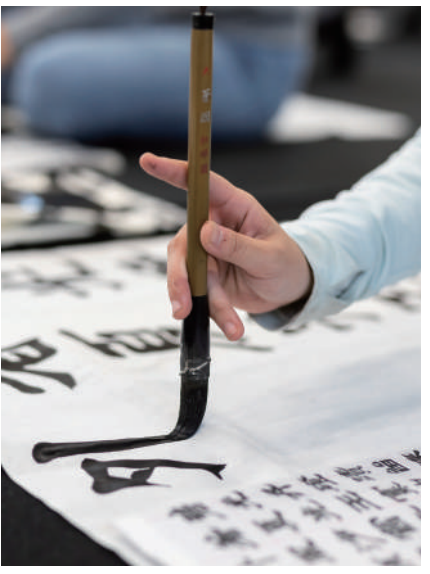
回診前にスタッフ全員で情報を共有

#Gummies Collection

学生広報サポーター(ゲーミーズ)が
学術文化系団体を独自レポート!

ゲーミーズコレクション

書道部



書に込められた背景や歴史を学び、
一人一人の個性を墨で表現する。

Q 書道部の活動について教えてください。
書道部 学内外で展示する作品の制作をメインに、イベントでの書道パフォーマンスも行います。学術文化祭や七隈祭での展示をはじめ、部の年間最大行事である「福岡大学書道部展」も開催しています。OB・OGの方と関わることも多く、先輩方も含めて部員同士に深い絆があると感じます。
Q 書道の魅力は何でしょう。
書道部 人柄や感情を書に込めて表現できることが一番の魅力です。字体だけではなく、紙や墨ひとつで作風が変わることもあります。講師の大原蒼龍先生には、「書く文字に込められた背景や歴史を深く勉強してから書に挑む

ように」と教わっています。
Q 書道部の今年の抱負を教えてください。
書道部 全日本高校・大学生書道展の団体賞で5位以内に入ることが目標です。過去最高の成績が6位なので、それを超えられるよう、日々書に挑んでいます。
Q 最後にこの記事を読んだ方に一言、お願いします。
書道部 書道には、習字のようにきれいな字を書くだけでなく、自分で創作していく楽しさがあります。部員の中には、習字や書道の未経験者もたくさんいます。ぜひ書道部に来て作品を見てみてください。



今回は私が取材しました!

Ayu: 商学部3年次生

What's Gummies

ゲーミーズとは

福大カラーのゲーミーズ色から名付けられたゲーミーズは、行事の取材やコラムの執筆、CM制作など、福岡大学の魅力を伝えるための広報活動を行っています! 広告業界で活躍されている方と一緒に活動することもあります。学年や学部を問わずみんなで楽しく活動しています!

人生を大きく左右する「快眠」のすすめ

大学に入ると一人暮らしになったり、アルバイトで帰宅が遅くなったりして生活リズムが乱れ、寝不足になりがちです。たかが睡眠と侮ることなかれ。睡眠は人の健康や能力(学力・体力・集中力など)に大きな影響を及ぼすものなのです。

教えてくれたのは



医学部 衛生・公衆衛生学教室
福岡大学病院 呼吸器内科 吉村 力 准教授

これでグッスリ! 快眠のポイント

質の良い睡眠を取るために、吉村先生に3つのポイントを教えてくださいました。

その1 寝室の環境を整えよう

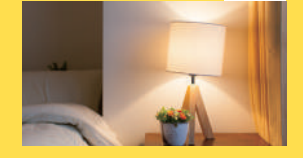
寝る時は、光や音をできるだけ無くしましょう。明るい場所で寝るとつ病になりやすいというデータもあるので、明かりをつけるなら間接照明に。朝は陽光が入るとスッキリ起きやすくなります。

その2 寝る前にはリラクセス

スマートフォンやPCのブルーライトは睡眠を妨げます。就寝前は使用を控え、入浴やアロマなどでリラクセスを。布団に入っても眠くなければ、一度布団を出てストレッチや読書をするとうつが良くなります。

その3 寝具にはこだわろう

熟睡するためには寝具も重要です。一流のスポーツ選手やビジネスマンには寝具にこだわる人が多数います。オーダーメイドの枕や特殊素材のマットなどは、多少値段が張っても使ってみる価値があります。



皆さんは日頃しっかり眠れていますか?厚生労働省の「国民健康・栄養調査」平成29年によると、1日平均6時間未満しか寝ていない人は20代で4割を超え、40代では5割ほどにのぼります。日本人は欧米人に比べて睡眠時間が短い傾向があり、最近ではさらに短くなってきています。

では、適正な睡眠時間というのはあるのでしょうか。「1日8時間眠った方が健康に良い」という話を耳にしたことがあるかもしれませんが、実は必ずしもそうではありません。一般的には20代で7時間、40代で6時間半が目安とされているもの、実際には長く寝ないとぼんやりしてしまう人や、反対に3時間睡眠でも元気に活動できる人もいます。つまり一人一人適正な睡眠時間は違って、同じ人でも年齢を重ねるに

適正な睡眠時間は人それぞれ
寝起きの「熟眠感」が大切

質の良い睡眠を取って
自分の能力を最大限に発揮

つれて必要な睡眠時間は短くなると言われています。大切なポイントは睡眠時間がどのくらいであっても、朝起きた時に「あー、ぐっすり眠れた」と感じるような、質の良い睡眠を取れるように心掛けることです。

睡眠不足になると、心身にさまざまな悪影響が出てきます。昼間に眠気を感じたり、集中力や記憶力が低下してミスが多くなったり、やる気が起きなくなったりして、勉強、仕事やスポーツのパフォーマンスが下がってしまいます。さらにがんや高血圧、糖尿病、脳卒中、心筋梗塞、うつ病などを発症する割合が高まるほか、食欲をコントロールするホルモンのバランスが崩れて太りやすくなるというデータもあります。

自分が寝不足と自覚したら、早めにかかり寝て「睡眠負債」を解消しましょう。た

症状から見る睡眠障害チェック

日常生活で、以下のような症状はありませんか?
答えの横の点数を足して合計点を出しましょう。

- (1) 座って雑誌、教科書、新聞などを
読んでいる時、うとうとする
- ほとんどない.....0点
 - 少しある.....1点
 - 半々くらい.....2点
 - よくある.....3点
- (2) 座ってテレビを見ている時、うとうとする
- ほとんどない.....0点
 - 少しある.....1点
 - 半々くらい.....2点
 - よくある.....3点
- (3) 午後横になって休息をとっている時、うとうとする
- ほとんどない.....0点
 - 少しある.....1点
 - 半々くらい.....2点
 - よくある.....3点
- (4) 講義などで静かに座っている時、うとうとする
- ほとんどない.....0点
 - 少しある.....1点
 - 半々くらい.....2点
 - よくある.....3点

判定結果(4問の合計点)

- 0点** 睡眠障害 低
睡眠障害による影響は少ないと考えられます。
- 1~12点** 睡眠障害 可能性あり
睡眠障害による日中の眠気があるようです。7点以上は特に危険です。点数が高ければ高い程度重症です。

Epworth Sleepiness Scale 改変

現在、福岡大学では募金活動に取り組んでおり、その趣旨にご賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご支援が寄せられております。ここに深く感謝いたします。

ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。

福岡大学学生サポート募金への
ご支援のお願い

福岡大学学生サポート募金は「本学の学生に対する全人教育の推進、豊かな学生生活の形成を支援する制度」として、在学生、卒業生、保護者、大学の相互の絆をより一層深めるとともに、本学独自の醸成を図ることを目指しております。

福岡大学学生サポート募金への寄付金の活用状況(令和元年9月30日現在)を次のとおりご報告します。

- ① 経済的困窮学生に対する奨学金
7月10日(水)に奨学生証を3人の学生へ授与しました。なお当該学生に対して1人につき30万円を寄付金から支給しました。
- ② 国際交流に関する支援
8月から10か月間、フランスに留学する学生に対し、留学支援金として20万円(月2万円)を支給しました。
- ③ 学生のスポーツ強化に対する支援
2020年東京オリンピック・パラリンピックへの出場を目指す、本学陸上競技部・体操競技部に所属する学生2人に対し、7月22日(月)に奨学生証を授与し、1人につき18万円(月3万円)を支給しました。

〈完成予想図〉



プール募金概要

- 目標額 2億円
 - 寄付金額 個人/一口 1万円 (一口未満のご寄付も受け付けています) 法人・団体/一口の金額は特に定めておりません。
 - 申込方法 PCやスマートフォンなどを利用したインターネット募金、振込による申し込みが可能です。
 - 募集期間 平成30年7月～令和3年3月
 - 寄付者顕彰 寄付累計額が基準を満たした方には寄付者名を刻んだ寄付者銘板の設置や感謝状の贈呈などの顕彰をさせていただきます。
- 募金の詳細は募金専用ウェブサイトをご覧ください。福岡大学財務部助成課までご連絡ください。

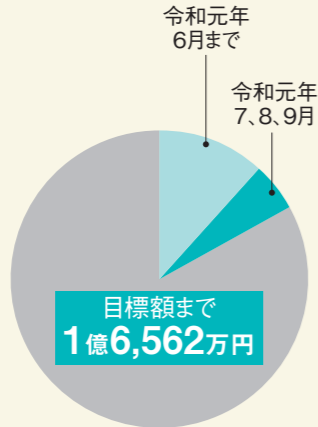
福岡大学新室内プール(仮称)は学生の保健体育科目、専門教育科目、課外教育活動はもとより、幅広い年齢層を対象とした教室、スポーツイベント開催などにより、地域や社会に貢献する場として後世の人々に永く愛される魅力的な施設となることを目指します。

創立85周年記念
福岡大学新室内プール(仮称)
建設募金へのご支援のお願い

創立85周年記念福岡大学新室内プール(仮称)建設募金(掲載第5回)

寄付金受入状況(月別)

令和元年9月30日現在	
月	受入状況(円)
令和元年6月まで	23,617,000
7月	200,000
8月	30,000
9月	10,530,000
目標額まで	165,623,000
目標額	200,000,000



寄付金受入状況(募金対象者別)

募金対象者	令和元年9月30日現在		
	令和元年6月までの寄付金額(円)	令和元年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	3,132,000	110,000	3,242,000
在学生の保護者	534,000	0	534,000
職員・役員	4,110,000	150,000	4,260,000
企業等法人	15,761,000	10,500,000	26,261,000
その他	80,000	0	80,000
合計	23,617,000	10,760,000	34,377,000

福岡大学学生サポート募金(掲載第23回)

寄付金受入状況(使途別)

使 途	令和元年9月30日現在		
	令和元年6月までの寄付金額(円)	令和元年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
入学前予約型奨学金	1,163,500	16,200	1,179,700
経済的困窮学生に対する奨学金	23,360,844	449,469	23,810,313
国際交流に関する支援	1,748,200	1,200	1,749,400
学生のスポーツ強化に対する支援	3,502,700	457,200	3,959,900
正課外教育及び社会貢献活動に対する支援	1,754,200	4,200	1,758,400
その他学生の教育、学習及び生活に関する支援の充実を図る事業	44,795,409	30,000	44,825,409
合計	76,324,853	958,269	77,283,122

寄付金受入状況(募金対象者別)

募金対象者	令和元年9月30日現在		
	令和元年6月までの寄付金額(円)	令和元年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	13,193,657	438,533	13,632,190
在学生の保護者	12,997,136	0	12,997,136
職員・役員	21,513,333	509,950	22,023,283
企業等法人	20,993,311	2,200	20,995,511
その他	7,627,416	7,586	7,635,002
合計	76,324,853	958,269	77,283,122

- 卒業生
- 四十万円 福田 和市 様
 - 三十万円 野田 守洋 様
 - 二十万円 山村 昌次 様
 - 十万円 星乃 治彦 様
 - 五万円 菊池 孝志 様
 - 三万円 山崎 明 様
 - 二万円未満 久我 秀一 様
 - 一万円未満 濱崎 弘志 様
 - 五千円未満 廣木 摩理勢 様
 - 五千円未満 山川 稔 様
 - 五千円未満 匿名様 7人
- 職員・役員
- 五十万円 大久保 美咲 様
 - 五十万円 脇田 佳幸 様
 - 十万円 川畑 朋美 様
- 企業等法人・その他
- 五十万円 株式会社福岡大学サービス 様
 - 五十万円 福岡大学水泳部OBOG会福永会長 松川 峰生 様
- 匿名様 2人

新しい募金活動を令和元年9月より開始しました

本学では、「建学の精神」に基づいた「全人教育」の実現に向け、キャンパス内の建物、グラウンドなどを整備する事業を積極的に推進しています。築50年を超え、老朽化した福岡大学自修寮、福岡大学体育寮の建替は、キャンパス整備事業の一環として進めるものです。これらの建物の建設資金の一部に充当し、人材育成の一層の充実を図るため以下の募金活動を開始しました。



- ・福岡大学新自修寮建設募金 (募集期間: 令和元年9月～令和4年3月)
 - ・福岡大学新体育寮建設募金 (募集期間: 令和元年9月～令和4年3月)
- 募金活動の詳細につきましては、募金趣意書および募金専用ウェブサイトに掲載しております。昨今の厳しい経済状況の折、誠に恐縮ではございますが、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▶ こちらのキーワードでアクセスしてください。

福岡大学 募金 検索

▶ スマートフォンはこちらからもアクセスできます。

● 本募金へのご寄付は、ウェブサイトからお申し込み、払い込みができます。

<https://bokin.fukuoka-u.ac.jp>

募金に関するお問い合わせ先
福岡大学 財務部助成課

TEL 092-871-6631(代)
内線 2371・2372

FAX 092-871-6813

メール joseika@adm.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学古本募金

読み終わった本・DVD等で福岡大学をご支援ください。

[募金のご報告]
◎22人
◎3,561冊
◎54,269円 (397,399円)

※令和元年7月から9月まで()内は平成30年8月から令和元年9月までの累計

お申し込み・お問い合わせ先
福岡大学 古本募金 検索

☎0120-29-7000
受付: 9時～18時・365日
運営協賛: 古本募金しゃぼん (嵯峨野株式会社)

● 最大約50%の減税効果があります!
● 現金だけでなく本やDVDでもできます!
● インターネットでの申し込みなら24時間受け付け可能です!

福岡大学への寄付者ご芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。ここに、令和元年7月1日から9月30日までの期間にご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

- 15,000,000円 株式会社福岡大学サービス 様
- 5,000,000円 内外 富男 様
- 1,000,000円 大同生命保険株式会社 代表取締役社長 工藤 稔 様
- 300,000円 医療法人恵友会 杵築中央病院 理事長 安東 孝文 様
- 200,000円 一般社団法人九州建設技術管理協会 理事長 横峯 正二 様
- 200,000円 株式会社そうりん 代表取締役 藤井 富生 様
- 179,000円 前川 隆文 様
- 100,000円 弁護士法人かばしま法律事務所 様
- 50,000円 保 正明 様
- ベンチャー式 福岡大学附属若葉高等学校後援会 様



川柳

第15回全国高校生

福岡大学が主催する全国高校生川柳コンクールに、今年度は全国249校の高校生19,574人からの応募がありました。その中から、金賞・銀賞・銅賞・特別賞・入賞の計56作品、学校賞10校を選出しました。

川柳コンクール公式サイト
https://www.fukuoka-u.ac.jp/univ_gids/rus/samyu2019/index.html



入選作品発表

金賞 〔福岡大学長賞〕

つまずいた
 ふりして君の
 背に触れる

神奈川県 神奈川県立厚木西高等学校 3年 清水輝

銀賞

抜かれても
 各駅停車
 僕の道

福岡県 つくば開成福岡高等学校 2年 田中颯

銅賞

ありがとう
 母には言えず
 文字で打つ

神奈川県 神奈川県立厚木西高等学校 3年 柏柳周人

特別賞

〔全日本川柳協会賞〕

お弁当
 開けて伝わる
 母寝坊

徳島県 徳島県立小松島高等学校 2年
 川下二葉

〔西日本新聞社賞〕
 帰り際
 言える幸せ
 “また明日”

福岡県 福岡大学附属若葉高等学校 3年
 中原綾華

〔NHK福岡放送局長賞〕
 鏡じやなく
 指が人を
 撃つ時代

福岡県 福岡大学附属若葉高等学校 2年
 池田把奏

〔紀伊國屋書店賞〕
 積もりゆく
 バス待つ傘は
 雪時計

福岡県 福岡大学附属若葉高等学校 1年
 小川ジュリア 洋子

〔福大生が選ぶ賞〕 〔選者〕

学友会総務委員会委員長 峰 咲良
 学術文化部常任幹事会幹事長 渡 有太
 体育部常任幹事会幹事長 前原 豊礼
 第66代立部幹事 立山 雄飛
 学生広報サポーター(グーミス)

若者は
 とりまなんでも
 略しすぎ

大阪府 大阪市立高等学校 1年
 長谷川 大起

おめでとう
 嬉しくないと
 笑う母

福岡県 福岡大学附属大濠高等学校 1年
 帆足 早夏

なぜだろう
 君の前だと
 ハンビロコウ

東京都 東京都立向丘高等学校 1年
 松澤 真吾

大会後
 寝ころんで見る
 空が好き

大阪府 大阪府立農芸高等学校 2年
 森 龍斗

入賞

朝の葉の 露よりまふしい 君の笑み
 大阪府 大阪教育大学附属高等学校池田校舎 1年 青山和輝

流れ星 見えても言えない 願ひごと
 福岡県 つくば開成福岡高等学校 3年 赤尾健史朗

やばいやばい 喜怒哀楽の 共通語
 青森県 青森県立青森西高等学校 1年 浅野 紗香

肩浸かり 立ちし湯煙 祖父薫る
 福岡県 福岡県立小倉東高等学校 3年 有馬 北斗

夏の夜 網戸に集う Many 蛾蛾
 鹿児島県 薩南高等学校 3年 池原 乃佳

既読待つ 時間はドキドキ 止まらない
 兵庫県 姫路市立琴丘高等学校 2年 大崎 愛未

父論す スマホ持つより 夢を持って
 佐賀県 早稲田佐賀高等学校 2年 大田 洋輔

花火さえ かき消す鼓動 横の君
 群馬県 群馬県立高崎工業高等学校 3年 岡田 大和

ネットより 現実見れば 視界良し
 福岡県 福岡大学附属若葉高等学校 2年 梶原 葵

祖父の目に 花火がうつる 夏の夜
 群馬県 群馬県立高崎工業高等学校 3年 加部 美鈴

いただきます かわりに響く シャッター音
 山口県 野田学園高等学校 1年 河村 樹里

「また来るね」 ゆつくり帰る 茄子の牛
 長崎県 純心女子高等学校 1年 島内 珠希香

AIに 勝つ方法を Siriに聞く
 徳島県 阿南工業高等学校 1年 鳥口 拓

ウルトラマン 僕と父との 架け橋に
 福井県 福井県立福井商業高等学校 3年 清水 翔太

味方だよ その一言に 救われた
 愛知県 愛知県立東郷高等学校 2年 神野 明日香

今日もまた 笑つてみよう 自分から
 鹿児島県 薩南高等学校 1年 鈴木 一誠

SNS 使えぬ祖母の SOS
 山口県 野田学園高等学校 3年 角田 匠

バスの中 プレザの日に 染まる朝
 茨城県 つくば開成高等学校(学習センター) 3年 関 ことき

「あたりまえ」 その日常に 感謝して
 熊本県 熊本県立水俣高等学校 2年 瀬戸 美咲

別れ際 まだ話したい 交差点
 福岡県 福岡県立福岡商業高等学校 2年 高橋 椎那

抜かされた 悔やむ母は 嬉しそう
 北海道 北海道札幌東陵高等学校 3年 高田 梨沙

届かない 人生初の 我が一票
 愛知県 愛知県立東郷高等学校 3年 竹内 晴彦

LINEきた だれだろだれだろ 親父かよ
 沖縄県 沖縄県立美里工業高等学校 3年 武原 弘真

初夏の風 袴に纏いて るを引く
 秋田県 秋田県立秋田北高等学校 1年 谷内 雄亮

桜より 眼のかゆみ 春感ず
 福岡県 福岡大学附属大濠高等学校 1年 野中 輝也

しわくちの 笑顔に会いに 盆休み
 福岡県 福岡県立久留米高等学校 2年 久田 夢佳

帰省終え 重い荷物は 祖母の想い
 大阪府 大阪市立高等学校 1年 藤永 悠生

徹夜明け 私のまふたは 愛し合う
 福岡県 福岡県立福岡農業高等学校 2年 真子 裕花

母が言う「誰に似たんだ」あなたです
 愛知県 愛知県立松山商業高等学校 2年 松本 愛莉

セルフレジ 機械おんちで 列つくる
 高知県 高知市立高知商業高等学校 3年 松村 千寛

テスト前 やる気あるのは 計画表
 群馬県 高崎商科大学附属高等学校 2年 松本 詢

低身長 まだ見ぬ高みに 夢を見る
 山形県 山形県立酒田光陵高等学校 3年 三浦 優衣

五時間目 まふたと戦 首落ちる
 愛知県 愛知県立東郷高等学校 3年 御厨 悠太

祖母と母 言ひあいの末に 同じ顔
 東京都 足立区立国高等学校 1年 水戸 陸人

一夜漬け 十分後には スマホ漬け
 兵庫県 姫路市立姫路高等学校 3年 山本 遥

パスワード 管理するにも パスワード
 兵庫県 姫路市立姫路高等学校 3年 山本 遥

学校賞

愛知県 愛知県立東郷高等学校
 大阪府 大阪市立高等学校
 神奈川県 神奈川県立厚木西高等学校
 群馬県 群馬県立高崎工業高等学校
 鹿児島県 薩南高等学校
 福岡県 つくば開成福岡高等学校
 山口県 野田学園高等学校
 福岡県 福岡大学附属大濠高等学校
 福岡県 福岡大学附属若葉高等学校
 福岡県 福岡県立福岡商業高等学校

Topics



福岡大学法科大学院の学修環境を生かし、
3人が令和元年司法試験に合格

幅広い知識や法的思考力など、高度な専門性が問われる司法試験。地道な努力と学修の日々が実を結び
2019年9月、司法試験に見事合格した
福岡大学法科大学院修了生の3人に、
これから自身が歩む「法曹への道」について話を聞きました。

実践的な授業で質疑を重ね
的確な表現方法を修得

検察官や弁護士の社会正義を貫く姿を報道などで見て、自分も法を通して人々を守る仕事をしたいと思い、法曹の道を志しました。

福岡大学法科大学院は少人数制のため、質問がしやすく、実務家の先生方による実践的な授業が魅力です。質疑形式の授業が多いため、緊張感を保ちつつ授業を受けてきました。片道1時間半の通学時間を活用し、質疑応答をイメージしながら思考を整理し、毎回の授業に臨む日々。空き時間に先生に質問して理解を深める一方、客観的な視点でアドバイスをくれる友人とも質疑を重ねて、的確な表現方法を身に付けていきました。このような実践に即した反復演習が実を結んだと思います。

梶島 雅人さん

福岡大学法学部
2012年卒業
福岡大学法科大学院
2012年入学(第9期)



相手の意見に耳を傾け
熟慮する姿勢を身に付けた

大学時代に体験した模擬裁判で被告人の事情を勘案する必要を感じ、弁護士の道を目指そうと思いました。福岡大学法科大学院を選んだのは、少人数で学生一人一人に担当が付く、きめ細かな指導に惹かれたからです。モチベーションが低下しそうなる時、担任の先生と話すことで気持ちを切り替えることができました。

授業は事前準備を怠らず、相手の話を理解する気持ちを持って議論の輪に入るよう努めました。異なる意見に耳を傾けることで知識が深まったと感じます。受験に向けて自身の答えを見直し、納得のいくまで練り直すなど、熟慮を重ねたことが結果につながったと思います。弁護士事務所で経験を積み、相談者から信頼される弁護士を目指します。

植田 晃弘さん

中央大学法学部
2012年卒業
福岡大学法科大学院
2012年入学(第9期)



先生方の懇切丁寧な指導と
オリジナルレジュメで合格

犯罪、環境、労働、経営など、どの分野も法律との関わりが深く、社会で困っている人の役に立ちたいと弁護士を志望しました。

福岡大学法科大学院の授業の質は非常に高く、授業内容の理解を深めるごとに、司法試験合格への手応えを感じるほどでした。法科大学院では、専門書購入のリクエストができ、学費面のサポートも充実。実際の事件をテーマにした授業も多く、実社会に即した学修ができます。授業中は先生のオリジナルレジュメに書き込みをして何度も見直し、試験当日もお守り代わりに持参しました。将来は弁護士として、起業する福大卒業生を支援し、本法科大学院に恩返しをしたいと思っています。

徳永 義夫さん

熊本大学法学部
1998年卒業
福岡大学法科大学院
2016年入学(第13期)



福大生の法律に関するさまざまなトラブルに無料で相談に応じます

例えば、こんな悩みはありませんか？ ■アルバイト先で不当解雇された… ■借金への返済がない… ■交通事故に遭ってしまった… etc.

友人と飲酒後、
自転車に乗って帰宅中、
歩行者に衝突して怪我をさせてしまいました。
私は何らかの刑事処分を受けるのでしょうか。

A 刑法または道路交通法上の処罰を受ける可能性があります。
自転車の運転で他人に怪我をさせた場合でも、刑事処罰の対象となります。特に飲酒運転の場合は、重過失傷害罪(刑法211条後段)として、5年以下の懲役若しくは禁錮又は100万円の罰金に処せられる可能性があります。事故を起こさなくても、自転車は道交法上の「軽車両」にあたるため、酒気帯び運転(道交法65条1項)の対象になります(5年以下の懲役又は100万円以下の罰金)。飲酒時には絶対に自転車に乗らないでください。



浅上 紗登美弁護士

福岡リーガルクリニック法律事務所

弁護士法人福岡リーガルクリニックセンター(福岡県弁護士会所属)

TEL:092-874-9292(受付時間:平日9:30~17:30)
福岡大学60周年記念館(ヘリオスプラザ)5階 <https://www.fukuoka-legal.jp/>
休業日:原則として土・日・祝日 ※事前の予約であれば、土・日や時間外も柔軟に対応します。

Topics

各方面で目覚ましい功績を挙げた学生を表彰 — 課外教育活動成績優秀者 —

2019年10月3日(木)、831教室で令和元年度上期の課外教育活動成績優秀者表彰式を行いました。課外教育活動において優秀な成績を収めた16人および2団体に、表彰状が贈られました。

学生部長からは、「今回の活躍は約2万人の学友にとって、また26万人を超える卒業生にとって夢と希望を与えるものでした。今後も、それぞれの競技を楽しみながら取り組み、自己実現を目指してください」と激励の言葉が贈られました。



団体の部(全国大会3位以上)

学友会名	大会名および種目	結果
ソフトテニス部	2019年全国日本大学ソフトテニス王座決定戦	第2位
なぎなた部	第58回全日本学生なぎなた選手権大会 女子 団体	第3位

個人の部(全国大会3位以上)

学友会名	学部 学年	氏名	大会名および種目	結果
陸上競技部	人文学部 2年次	兒玉 芽生	第73回出雲陸上競技大会 女子 100m	第3位
			2019日本学生陸上競技個人選手権大会 女子 100m	優勝
			第103回日本陸上競技選手権大会 女子 200m	優勝
	スポーツ科学部 4年次	松清 和希	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 男子 400m	優勝
	スポーツ科学部 4年次	樺瓶 明日夏	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 女子 走幅跳	第2位
	スポーツ科学部 3年次	尾山 和華	第32回南部忠平記念陸上競技大会 女子 砲丸投	第2位
			2019日本学生陸上競技個人選手権大会 女子 砲丸投	第3位
	スポーツ科学部 3年次	神田 菜摘	第67回兵庫リレーカーニバル 女子 走高跳	第2位
	スポーツ科学部 2年次	上田 百寧	第103回日本陸上競技選手権大会 女子 走高跳	優勝
			2019日本学生陸上競技個人選手権大会 女子 やり投	優勝
スポーツ健康科学研究科 2年次	重永 乃理子	2019水戸招待陸上 女子 100m	第3位	
体操競技部	スポーツ科学部 4年次	米倉 英信	第73回全日本学生体操競技選手権大会 男子 種目別選手権の部 跳馬	優勝
レスリング部	スポーツ科学部 2年次	北 英将	2019年JOCジュニアオリンピックカップ 男子 フリースタイル86kg級	第3位
	スポーツ科学部 4年次	草野 汐梨	第58回全日本学生なぎなた選手権大会 試合競技 女子個人	第3位
なぎなた部	スポーツ科学部 3年次	坂本 優	第58回全日本学生なぎなた選手権大会 演技競技	第3位
	スポーツ科学部 2年次	丸野 麗那		
書道部	工学部 4年次	金保 陽香	第24回全日本高校・大学生書道展(漢字部門) 52作品/10,402作品中	大賞
舞踏研究会	理学部 4年次	桂 聖幸	第57回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会(ラテンの部)	第1位
	人文学部 4年次	西村 文花		

個人の部(国際試合等対象選手)

学友会名	学部 学年	氏名	大会名および種目	結果
陸上競技部	人文学部 2年次	兒玉 芽生	IAAF世界リレー2019 女子 4×200m	第4位(日本記録)
バドミントン部	商学部 4年次	藤野 遼	YONEX Canada Para-Badminton International 2019 女子 シングルス	第2位
			EZ Forza Irish Para-badminton International 2019 女子 シングルス	第3位

Topics

公認会計士試験に会計専門職プログラムの
在学3人が合格

2019年11月に公認会計士試験の論文式試験の合格者が発表され、福岡大学商学部・商学部第二部会計専門職プログラムに在学中の3人〔坂田莉彩さん(4年次生)、福澤彩乃さん(4年次生)、金子菜美恵さん(3年次生)〕が合格しました(論文式試験の受験には、短答式試験の合格が必要)。今回は他にも、卒業生2人が合格しており、会計専門職プログラムから計5人の合格者を輩出しました。

会計専門職プログラムは、2012年度に商学部・商学部第二部の学生を対象にスタートした、在学中に公認会計士や税理士などのハイレベルな資格試験の合格を目指すための会計プロフェッショナル養成プログラムで、これまでに26人の公認会計士試験合格者を輩出しています。

News

壱岐市・壱岐医師会と
保健・医療に関する連携協定を締結



2019年11月6日(水)、福岡大学は壱岐市および壱岐医師会と、保健・医療に関する連携協定を締結しました。壱岐市における疾病の予防および健康寿命の延伸に努め、地域社会の健全な発展と人材の育成に寄与することを目的としています。慢性腎臓病のさらなる予防促進をはじめ、保健・医療に関する全般的な改善、本学における研究活動の充実と向上、地域社会との連携・交流活動の促進などが期待されます。

保健・医療に関する連携協定締結式

News

「ふれあいスポーツフェスタ2019 in 福岡大学」を開催



2019年12月8日(日)、福岡大学仮設サッカー場で、障がい者スポーツへの関心を高め、大学と地域が一体となり支援することを目的に「ふれあいスポーツフェスタ2019 in 福岡大学」を開催しました。

当日は、本学の仮設サッカー場を6区画に分け、第12回九州・四国スキャンピオカップ(精神障がい者のフットサル大会)と、2020年パラリンピック競技でもあるブラインドサッカー(視覚障がい者のサッカー)や、デフサッカー(聴覚障がい者のサッカー)などが行われました。総勢約500人の選手と本学ボランティアスタッフがスポーツを通じて交流を行い、障がいを越えて理解を深めました。



来てみて / 話して /

こころの整理

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談に応じます。
相談内容の秘密は守りますので、安心してお越しください。

どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか?

個別の面談だけではなく、自分への理解を深めたり、社会生活場面で役立つスキルなどを学ぶことを目的とした、少人数の体験型活動も実施しています(授業期間のみ)。

費用 無料

相談時間 月・水・木・金/9:30~15:50
火 /9:30~18:30

場所 学生部事務室棟3階
(1階に学生課のある建物)

●本学学生のことであれば、ご家族や教職員からの相談もお受けしています。

ヒューマンディベロップメントセンター (HDセンター:学生相談室) **TEL:092-871-6631(代)** (内線:2630)

ウェブサイトもご覧ください▶ <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm> ※お電話は平日の9:00~16:30にお願いします。 **完全予約制**

Topics

バックンマクンを招き、第21回「今を生きる教養講演会」を開催



2019年10月15日(火)、福岡大学831教室で福大生ステップアッププログラム(FSP)の一環として、第21回「今を生きる教養講演会・NHK大学セミナー」を行いました。今回はバックンマクンを講師に迎え、「自分を動かす、人を動かす、世界を動かす」をテーマにご講演いただきました。

講演は344人の参加者全員を巻き込み、初対面でペアを組んでの自己紹介からスタート。会場は大きな盛り上がりを見せ、自らが

動くことで人を動かせる楽しさを体感しました。さらに視野を広げて、外国の方とコミュニケーションを取る第一歩としては、バックンマクンの実体験をもとに、日本語で「こんにちは」と声をかけることが非常に喜ばれると推奨。会話をより広げるためにも、英語を話せることが強みになると語りました。

英語への苦手意識が強く、「英語を喋ることが出来ますか」の問いかけに最初はほとんど手の挙がらなかった会場。しかし、「私たちは日常的に多くの英単語を使っており、完璧主義さえ捨てればコミュニケーションを取ることが可能だ」とバックンマクンが説明した後は、会場のほとんどが「喋れる」に手を挙げ、大きな変化が起きました。

多様な文化や歴史的背景を持つ外国の方とトラブルを避けながら仲良くなるためには、相手に興味を持って情報を引き出したり、価値観を勉強した上でコミュニケーションを取る必要性にも言及。「完璧じゃなくていい。英語というツールを生かしてコミュニケーションをとり、世界を動かしてほしい」とのメッセージで締めくくりました。



Topics

レジリエンスをテーマに「大学院学際シンポジウム」を開催

2019年10月26日(土)、福岡大学中央図書館多目的ホールで「レジリエンスを求めて」をテーマに「大学院学際シンポジウム」を開催しました。本年度の福岡大学事業計画に掲げた「大学院教育の充実」に向けた取り組みで、大学院における研究科の枠を越えた学際教育プログラムの構築を目指して企画されたものです。

第一部では、工学研究科の佐藤研一教授が「博多駅前陥没事故にみるレジリエンス」、商学研究科の飛田努准教授が「ビジネスの根幹は社会課題を解決することにある:地方創生・事業再生をもたらすイノベーション」、人文科学研究科の徳永豊教授が「生きる力としての「しなやかさ」~子育てにおけるレジリエンス~」、スポーツ健康科学研究科の川中健太郎教授が「スポーツトレーニングの基盤となる超回復現象」について講演しました。



第二部では、大学院学務委員長の廣澤孝之教授がコーディネーターとして登壇。来場者から募った質問に各講演者が回答する、パネルディスカッション形式で進行了。参加者は様々な分野の話に真剣に耳を傾け、学際的キーワードの一つとして注目されている「レジリエンス」というテーマへの一層の理解を深めました。



福岡大学は高等教育の 修学支援新制度の対象校となりました

本学は、令和2年4月から実施予定の高等教育の修学支援新制度の対象機関〔「大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)」による修学支援の対象機関となる大学等(確認大学等)〕として、文部科学省に機関要件の確認を受け、令和2年度の対象校となりました。

詳細については、本学公式ウェブサイトおよび本学入試情報サイト等でお知らせする予定です。



詳しい概要についてはコチラ
(文部科学省の特設ページ)

大学ブランド調査「総合力」で九州2位

「大学ブランド・イメージ調査2019-2020」(株式会社日経BPコンサルティング実施)の結果が発表され、福岡大学は「躍動感」などが高く評価され、九州・沖縄・山口地区で2位と躍進しています。調査は、九州・沖縄・山口の国公私立大学55校を対象に「大学の研究施設の充実度」や「学生のコミュニケーション能力の高さ」など49項目をもとに、大学のブランド総合力の偏差値を算出し、順位付けをしたものです。

九州・沖縄・山口の大学ブランド総合カランキング		
順位	大学名	大学ブランド総合力 (偏差値)
1位	九州大学	94.1
2位	福岡大学	69.3
3位	熊本大学	68.9
4位	立命館アジア太平洋大学	62.5
5位	西南学院大学	62.4

宮田輝星選手、プロ野球の世界へ 北海道日本ハムファイターズからドラフト指名



2019年10月17日(木)、福岡大学野球部の宮田輝星選手(スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生)が、2019年プロ野球ドラフト会議において、北海道日本ハムファイターズから育成1位で指名されました。

宮田選手は俊足と強肩のスイッチ打者。外野からの乱れのない送球や守備範囲の広さ、打ち損じも内野安打に変えるほどの俊足を生かしたプレーで、1年次秋からベンチ入りし実力を発揮してきました。

10月25日(金)に行われた指名あいさつでは、北海道日本ハムファイターズの林孝哉氏(九州地区担当スカウト)が宮田選手に対し「肩の強さと、走力を高く評価している」と指名理由などを話しました。

宮田選手は多くの報道陣を前に「2年以内に支配下選手になり、3年で活躍できるように精一杯努力したい」と熱く決意を語りました。



イベントスケジュール ※学部や学年などによって異なる場合があります。

- 1月** 冬季休業終了(4日)
後期授業再開(6日)
後期授業終了(15日)
後期定期試験(16日~28日)(予備日を含む)
大学入試センター試験(18日・19日)
- 2月** 一般入試(系統別日程)(本学・各地/2日)
一般入試(前期日程)(本学・各地/3日~7日、11日・12日)
学部留学生入試(8日)
医師国家試験(8日・9日)
4年次生等成績発表開始(医学部医学科を除く)(13日~)
成績発表(医学部医学科第1~4学年)(13日)
保健師国家試験(14日)
海外研修生派遣(アメリカ・オーストラリア)(15日~3月14日)
看護師国家試験(16日)
大学院春季入試(16日~19日)
一次学士合格発表(21日)
一般入試(系統別日程・前期日程)、センタープラス型入試、
大学入試センター試験利用入試(I期・II期)合格発表(22日)
学部留学生入試合格発表(22日)
薬剤師国家試験(22日・23日)
追・再試験(22日~28日)
交換留学生派遣(中国・韓国・台湾・イギリス)
修士・博士学位合格発表(28日)
大学院生成績発表(28日)
- 3月** 海外語学研修生派遣(中国)(1日~15日)
一般入試(スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試(2日)
大学院春季入試合格発表(3日)
一般入試(後期日程)(5日)
成績発表(医学部医学科第2~3、5学年)(12日)
二次学士合格発表(13日)
一般入試(後期日程、スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試合格発表(14日)
春季大学院学位記(博士)授与式(16日)
1~3年次生成績発表開始
(医学部医学科第1学年を含む)(16日~)
医師国家試験合格発表(16日)
学部卒業式・大学院学位記(修士)授与式(19日)
商学部第二部卒業レセプション(19日)
保健師国家試験合格発表(19日)
看護師国家試験合格発表(19日)
在学生履修登録(21日~28日)※大学院生は30日まで
薬剤師国家試験合格発表(24日)
- 4月** 入学式(1日)
前期授業開始(10日)

News

景観まちづくり研究室が 「2019年度グッドデザイン賞」受賞

工学部社会デザイン工学科景観まちづくり研究室(柴田久教授)が基本設計に携わった「大分昭通通り・交差点四隅広場のリボンプロジェクト」が、2019年度グッドデザイン賞を受賞しました。本研究室でのグッドデザイン賞受賞は「大島海洋体験施設 うみんぐ大島」「警固公園」に続いて3回目となります。



News

部品内蔵基板の3次元データフォーマットに関する 国際標準規格が発行

福岡大学半導体実装研究所と公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)との連携で開発された部品内蔵基板国際標準規格(IEC62878-2-5)が、9月16日に発行されました。

本国際規格は、同研究所において産学官連携のもと進めてきた部品内蔵基板国際標準の第2弾として、2013年から国際標準化に向けて取り組んできたもので、電子産業分野における高機能プリント配線基板の国際市場での促進が期待されます。



Topics

商学部第二部「社会人コース」履修生募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、経営者、公務員、熟年層、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、1年間の履修期間で金融・流通、経営、会計、国際ビジネスの4つの分野を体系的かつ横断的に学べる「社会人コース」を開設しています。令和2年度履修生募集の詳細については、商学部事務室にお問い合わせください。

◎参考URL
<https://www.fukuoka-u.ac.jp/education/opportunities/nondegree/worker.html/>



◎商学部事務室
TEL:092-871-6631(月~金17:00まで)
TEL:092-871-6670(月~金17:00以降、土17:35以降)